

Seminar Information

ゼミ10

FY2023
SHIGA Univ.

2023年度 経済学部



滋賀大
ゼミ情報

滋賀大学
ゼミナール協議会

はじめに

ゼミナール協議会とは？

私どもゼミナール協議会は、学生の勉強生活の発展と向上を主な目的として活動している団体です。主に以下の活動を行っております。

1 学内ゼミナール大会

2 講演会(懇親会)

経済学部生の興味がある分野で活動しておられる講師の方をお招きし、実社会に対する知識を教授していただくことで本学部生の意識向上及び進路選択の参考となることを目的としています。

3 就職活動支援行事

就職活動を控える学生の就職への意識向上、修練を目的とし、模擬面接や模擬 GD、懇親会を行っています。本学より先生方や四回生内定者のご協力を仰ぎ、面接官を務めていただいています。

4 インナー大会、インター大会の運営

ゼミ協の全国組織(日本学生経済ゼミナール)が開催する学術プレゼン大会の企画・運営を行っています。毎年 1000 人以上の学生が参加し、滋賀大生も毎年決勝まで進出しています。

5 ゼミ活動援助金の支給等

ゼミ活動において発生した費用をゼミ協から援助する活動です。

ゼミナール協議会は、全国の他大学と大規模な学術組織(日本学生経済ゼミナール)と連携し、様々な方面から学生を支援しています。

ゼミナール協議会と聞いて、堅苦しいイメージを持たれるかもしれませんが、個性的で楽しいメンバーが集まっています。ゼミナール協議会では自分の思い次第であらゆることに挑戦でき、その可能性は無限大です。

何時でもご連絡をお待ちしております。

Mail : shiga.zemikyou@gmail.com

学内ゼミナール大会とは？

学内ゼミナール大会とは、来年度、専門演習(ゼミ)を履修される二回生の皆さんに、ゼミとはどういったものかを紹介し、ゼミの選定を補助するイベントです。主催しているのは、私どもゼミナール協議会です。

こちらのゼミナール紹介冊子を事前に配布した上で、現役のゼミ生が待機するブースを回ることで、ゼミに対する理解をさらに深めてもらおうと考えています。各ゼミのブースの詳細についてはホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

『ゼミ』とは、三・四回生で履修しなければならない必修科目ですが、二年間同じ教員のもとで学ぶことができるゼミで過ごす時間は貴重です。この機会を最大限に活かし、来たるゼミ生活の充実に役立てて頂ければ幸いです。

今年度は下記の日程で行いますので、是非ご参加ください。詳しい日程・参加ゼミについてはホームページに記載しますので、ホームページをご覧ください。

学内ゼミナール大会

期間:令和 4 年 10 月 8 日(土) 14 時～

形式:対面(滋賀大学)

▼ホームページ URL

<https://shigazemikyou.wixsite.com/website-1>

HP のパスワード: shigazemi2022

▼HP の QR コード



目次

経済学科

石井 利江子ゼミ	4
金 秉基ゼミ	5,6
佐野 洋史ゼミ	7
田中 勝也ゼミ	8,9
田中 英明ゼミ	10
中野 桂ゼミ	11
府内 直樹ゼミ	12
松田 有加ゼミ	13
御崎 加代子ゼミ	14
森 宏一郎ゼミ	15
山田 和代ゼミ	16
和田 佳之ゼミ	17

ファイナンス学科

井手 一郎ゼミ	19
菊池 健太郎ゼミ	20
楠田 浩二ゼミ	21
室 徳圭ゼミ	22
吉田 裕司ゼミ	23,24

企業経営学科

小野 善生ゼミ	26,27
喜田 昌樹ゼミ	28
澤木 聖子ゼミ	29
柴田 淳郎ゼミ	30
清宮 政宏ゼミ	31
竹中 厚雄ゼミ	32,33
陳 韻如ゼミ	34,35
内藤 雄志ゼミ	36
山下 悠ゼミ	37

会計情報学科

可児島 達夫ゼミ	39,40
野田 昭宏ゼミ	41
宮西 賢次ゼミ	42,43,44

社会システム学科

坂野 鉄也ゼミ	46
竹村 幸祐ゼミ	47
谷上 亜紀ゼミ	48
富田 健一ゼミ	49
鍋倉 聡ゼミ	50
西村 正秀ゼミ	51
野瀬 昌彦ゼミ	52
能登 真規子ゼミ	53
福浦 厚子ゼミ	54
松下 京平ゼミ	55
宗野 隆俊ゼミ	56,57

※Ⅰ・Ⅱゼミは3回生時、Ⅲ・Ⅳゼミは4回生時に受けるゼミのことです。

※本冊子にはゼミ紹介文を提出していただいたゼミのみを掲載しております。

※各専門演習(ゼミ)の正式な内容はシラバスに載っています。必ず確認するようにしてください。

経済学科

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

大学院生のころから、公共入札における入札行動に関する実証分析をしています。入札環境の違いに対して入札者がどのように反応するか、といったことを研究しています。最近ではスイスのフリブール大学の研究者と共同で、機械学習による入札談合の検出に取り組んでいます。

【先生より】

石井ゼミでは「社会に出る前に、ぜひデータに基づいた仮説検証を経験してほしい」という思いから計量経済学を主として勉強しています。

分析のもととなる考え方や、分析中の試行錯誤の経験は、学生が社会に出た後にとても役に立つものだと思います。少人数のゼミでこそ、その経験をしてもらいたいと思っています。

【連絡先】

rie-ishii@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3 年生春学期はデータ分析の演習を行う予定です。R というソフトを使います。

2022 年度は「社会科学のためのデータ分析入門」(今井耕介、岩波書店)という本を教科書として使用しました。投票行動、経済発展、教育、人種差別など、さまざまな分野のデータに触れながら分析手法を習得します。

3 年生の秋学期は、春学期の内容を踏まえて各自が研究プロジェクトをすすめます。各自の興味や問題意識に沿ってテーマを決め、データを集め、分析方法を選び、実際に分析を実行して論文にまとめるという一連の作業を経験してもらいたいと思います。必要に応じて、春学期の内容より一歩進んだ計量経済学を勉強したりするかもしれません。

【活動時間】

金曜日3限

授業が延長することもあり得るので、金曜 4 限に授業等は入れないでください。

【課外活動】

親睦会等はほとんどありません。

【卒論テーマ】

企業の研究開発投資が全要素生産性に与える影響についての実証分析

非認知能力の学力への影響

技術進歩が所得格差に与える影響の分析

新幹線の開通が地方経済に与える影響

東南アジア経済共同体がベトナムの農業発展に与える影響など

【ゼミ生より】

石井ゼミでは、R を用いたデータ分析を行います。授業では各班に分かれて、教科書の内容について PowerPoint での説明や、R を実際に用いての演習を行います。事前知識は一切必要ありません。また学習の中でわからないことや、うまくいかないことが出てくるかと思いますが、先生が丁寧に教えてくださるので特に心配はありません。

R に興味がある方や、データ分析について学んでみたいという方にはおすすめかと思います。

【人数】

I ゼミ: 男 8 女 1

II ゼミ: 男 8 女 0

【就職(進路)状況】

各種メーカー(日本電産、日本無線など)、金融機関(日本政策金融公庫、愛知銀行など)、保険会社、公益団体、IT システムコンサルティング、公認会計士など

地方自治体(愛知県、大阪府)

大学院(京都大学、名古屋大学、大阪大学、一橋大学)

【入るための目安(条件)】

・英語と数学に抵抗がないこと。

・統計学 A,B を履修済みであることが望ましい。

金 秉基ゼミ KIM BYOUNGKI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

①途上国の経済・社会開発と持続可能な開発
②国際開発協力と開発援助(ODA 等)
③インドシナ諸国の貧困削減、農村開発等
東アジア(中国、韓国、北朝鮮)や東南アジア(インドシナ半島)の経済開発政策と国際協力についての研究を行っている。また、インドシナ半島における農村地域の貧困削減の研究の一環として途上国現地で家計調査や焼畑調査等を行っている。

【先生より】

貧困や飢えに苦しみ、教育や医療を満足に受けられない人々が世界人口の8割以上を占めている。5人に1人が1日1ドル以下で暮らしている。6人に1人が安全な水を利用することができず、3秒に1人の子供の命が失われている(JICA より)。こうした途上国にとって経済・社会開発は必要なのか。必要であればどうすれば開発が可能になるかについて考えてみませんか。途上国現地を訪れて自分の目で直接見ることで途上国の貧困状況や日本及び国際機関が行っている開発援助の必要性を理解するきっかけを与えることがゼミの目標の一つである。金ゼミは、ゼミ生自身がゼミ活動を企画・運営・評価する学生自主ゼミである。

【連絡先】

b-kim@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

地球上では貧困、紛争や内戦、テロ、環境破壊、感染症の蔓延、汚職と腐敗、人権と男女差別など様々な問題が発生しているが、これらのほとんどは途上国で起きている。国際社会の平和と国・地域が相互繁栄するためには、開発援助や国際協力は不可欠である。途上国が置かれている現状を正確に理解するとともに、先進国や国際機関が行っている開発援助を理解する必要がある。金ゼミでは、途上国が抱えている諸問題や援助政策、開発理論等を学んだうえで、それらを実際の問題に適用して解決策を探ることを目標とする。

(Keywords) 貧困削減、経済・社会開発、人間開発、女性開発、農村開発、MDGs/SDGs【活動時間】

学期中のゼミでは、開発経済に関する経済理論、世界経済、途上国の諸問題、自由と開発、女性と開発、教育と開発等をテーマにして研究、発表、ディベートをしたり、統計資料や参考文献を収集する。夏休みや冬休みには海外ボランティア及び海外研修を行う。

【課外活動】

①途上国の現状を理解するために、途上国現地の大学での国際交流や小学校でのボランティア活動(ラオス国立大学、3 回生の夏休み)。NGO や企業との協力による途上国支援活動や現地企業の訪問も企画
②韓国啓明大学を訪問し、現地の大学生との交流(3 回生の冬休み)。
③Google, Apple, Meta 等グローバル企業が集積しているシリコンバレー(米国カリフォルニア州)で 2 週間ほどの研修を考えている。

【卒論テーマ】

途上国の経済・社会開発(開発と貧困・自由・女性・安全保障)、国際協力と開発援助、持続可能な開発、国際機関(UN, World Bank, OECD, JICA)と開発援助など国際経済関連分野

【ゼミ生より】

金先生ゼミは「先生より」にもあるように個人の主体性が求められるゼミです。そのため、日ごろから世の中に起きている出来事に反応的になるのではなく、主体的に接することが大事だと思っています。

また、ゼミの活動内容には海外研修がありますが、「なんだか楽しそうだなあ」というモチベーションで取り組むことも悪くないと思いますが、何を目的に研修先へ行くのか、目的を果たすためには何をすべきかを考えることが最も重要です。

コロナ禍で海外研修に行けるのか分かりませんが、ゼミ生の取り組み次第で、充実感は無限大に変化するゼミだと思います。

【人数】

I ゼミ: 男 14 女 4

III ゼミ: 男 10 女 6

【就職(進路)状況】

日本郵船、日本郵便、関西電力、中部電力、伊藤忠丸紅テクノスチール、堀場製作所、モリタ制作所、岡谷鋼機、日本電産、JAL、ANA、山善、Global Mobility Service、りそな銀行、りそな HD、三菱東京 UFJ 銀行、三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング、みずほ FG、三井住友銀行、SMBC 日興証券、京都銀行、名古屋銀行、滋賀銀行、日本生命、住友生命、積水ハウス、富士貿易、地方公務員(滋賀県庁、岐阜市役所、野洲市役所)、大学院進学(京大、神大、名古屋大学、滋賀大)、交換留学や私費留学(米国、カナダ、オランダ、メキシコ、豪州、タイ、韓国等)、トビタテ留学(タイ、セネガル・英国、アルゼンチン)

【入るための目安(条件)】

- ①途上国と国際協力に関心があり、海外ボランティア活動に参加できること。
- ②自ら国際交流及び海外ボランティア活動を企画・実施・評価することに関心があること。
- ③絶対条件ではないが、経済学の基礎知識を身に付けていることが望ましい。

佐野 洋史ゼミ SANO HIROSHI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

医療、介護、年金、育児、労働など、日本の社会保障が抱える問題の原因究明と、解決策の導出に取り組んでいます。近年では、産科・小児科医の勤務先の選択要因について研究しています。これまでに、医師がへき地勤務で重視する要因や、医師の医薬品の選択要因、介護労働者の勤務先の選択要因、がん検診の受診勧奨策などについて研究しました。

【先生より】

本ゼミは、経済学を通して社会保障問題の原因と解決策を考えます。3 回生はグループ研究、4 回生は個人研究を行うことが、基本的なゼミ活動になります。加えて、3・4 回生合同のゼミ合宿や、学生がゼミで行いたいことを積極的に取り入れていきたいと思っています。学生と相談しながら、ゼミ活動の内容を充実させていきたいと考えています。そのため、学生にはゼミに積極的に参加し、発言する意欲があることを求めます。

【連絡先】

hi-sano@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3 回生のゼミでは、グループ研究に多くの時間を使います。グループ研究は社会保障に関するテーマを取り扱い、その成果は他大学のゼミも参加する日本学生経済ゼミナールの研究発表大会(例年10月末～11月の日曜日に開催)で発表してもらいます。その他、夏休み中に企業・工場見学やゼミ合宿(4 回生と合同)などを行う予定です。

4 回生のゼミでは、グループ研究で培ったノウハウを活かして個人研究を行い、卒業論文を作成してもらいます。その他、学生の意見を踏まえてゼミ活動の内容を決めたいと思います。

【活動時間】

3 回生のゼミ(専門演習Ⅰ・Ⅱ)は水曜日 3 限、4 回生のゼミ(専門演習Ⅲ・Ⅳ)は水曜日 4 限に行います。

サブゼミの時間は特に設けません。ただし、例年グループ研究の遂行のために、ゼミ以外の時間にも学生が自発的に集まって議論・作業しています。

【課外活動】

企業・工場見学やゼミ合宿などを行います。行き先は、学生の希望を踏まえて決めます。2020、21 年は新型コロナウイルスの影響のため中止しましたが、これまでに兵庫県明太子工場、愛知県のコカ・コーラ工場、山梨県のアイスクリーム工場、福井の酒造などを見学し、ゼミ合宿を行いました。

その他、歓迎会や新年会、送別会なども行います。

【卒論テーマ】

過去のゼミ生の卒論は、医療、介護、年金、育児、労働、生活保護といった社会問題に対する解決策を研究したものが多いです。

ただし、卒論のテーマは社会保障に限定していません。就職先の企業・業界に関する卒論でも構いません。

【ゼミ生より】

佐野ゼミは滋賀大学で唯一の社会保障について学ぶことのできるゼミです。ゼミではインター大会やゼミ合宿、懇親会などの活動を行っています。また、グループワークで仲を深めながら研究を行っています。

佐野先生はとてもフレンドリーに優しく指導をしてくださる先生です。ぜひお待ちしております！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:18 人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:15 人

【就職(進路)状況】

生命保険会社、医療機器メーカー、専門商社、都市銀行、地方銀行、IT サービス会社、プラントエンジニアリング会社、システム開発会社、自動車販売金融企業、化学工業メーカー、重工業メーカー、情報・通信企業、製薬企業、不動産会社、住宅メーカー、物流企業、航空会社、国家公務員(検察庁、労働局、国税、税関)、地方公務員(県庁、市役所)、大学院進学など

【入るための目安(条件)】

医療、介護、年金、育児、労働といった社会保障の問題に関心を持ち、ゼミ合宿などのゼミ活動に積極的に参加する意欲があること。

ゼミ人数の目安は15名程度とし、希望者多数の場合は選抜します。

田中 勝也ゼミ TANAKA KATSUYA

注意:本ゼミは、DS 学部・経済学部の合同形式になります
(各学年、両学部合計で 4-5 名程度)

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

持続可能な地域づくり、生物多様性保全、防災・減災、スマートモビリティ(公共交通+自転車)などの SDGs に関連するテーマを対象に、環境経済学や空間データサイエンスによるアプローチで研究しています。ゼミの雰囲気は以下の紹介記事を参考にしてください。

<https://rb.gy/afifzv>

ゼミ生の多くは省庁や自治体、民間企業との共同研究の下でテーマを選択して研究しています。内容はさまざまですがデータ分析のスキルは必須です。モチベーションがあり楽しく研究できる学生を歓迎します。

【先生より】

本ゼミでは、担当教員が国内外で実施しているプロジェクトの収集データを利用して、分析および卒論研究を進めていきます。担当教員が進めている外部資金によるプロジェクト一覧は、以下の HP を参照してください。

<https://tanakalab.wordpress.com/projects/>

【連絡先】

tanakak@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3 回生春学期:基礎学習

年度によって異なりますが、分析手法を中心に学ぶ年もあるれば、レポートや論文の書き方を中心に学ぶ年もあります。基本を早い段階で固めておくことで、テーマ研究を十分に行えるようになります。

3 回生秋学期:研究テーマの決定

テーマ設定は学生の自由ですが、担当教員の研究内容に近い分野に設定することで、的確なアドバイスやスキルを得ることができます。

【活動時間】

3 回生:金曜日 3 限

4 回生:金曜日 4 限

【課外活動】

特に予定はありませんが、研究テーマによっては、対象地域の視察・観察を行います。

【卒論テーマ】

以下は、最近のゼミ生の研究テーマの一例です。

- グリーンインフラの整備による持続可能な都市の経済分析
- モバイル空間統計(携帯位置情報ビッグデータ)による災害時避難行動の分析モデルの構築
- 商業集積統計(商業地の空間ポリゴンデータ)による地域活性化の空間分析
- 農業センサスによる耕作放棄抑制と生態系保全の空間計量経済分析
- POS データによる小売店売上予測による有機農産物の普及拡大
- 絶滅危惧種の生息地保全に向けた空間データ解析と政策提言 etc.

【ゼミ生より】

現 3 回生は、地域プロモーション、グリーンインフラ、生物多様性、まちづくりなどに関心がある学生が所属しています。このゼミは少人数、担当教員が複数の研究を現在進行形で行っている、自分の名前が書かれた論文が公開される、などの利点が多く、やる気さえあれば有意義なゼミ活動を行えます。データ分析に自信がない人も、ゼミ入会前に学習サポートがあるので、安心してください。

【人数】

専門演習 I・II:男 3 人 女 1 人

⇒DS 学部 1 人 経済学部 2 人

専門演習 III・IV:男 3 人 女 2 人

⇒DS 学部 2 人 経済学部 3 人

【就職(進路)状況】

- ・公務員
- ・ディベロッパー
- ・ソフトウェア開発企業
- ・コンサルティング企業
- ・海外大学院

【入るための目安(条件)】

ゼミ履修の条件は、①意欲と積極性のある学生であること、②上記研究テーマに関心があることです。DS 学部と合同だからといって経済学部生がデータに強い必要性はなく、何事にも一生懸命な学生が歓迎されます。

以下の経験や知識を有している場合、ゼミ活動を効率的に行うことができます(ゼミ決定後から学習しても間に合います by 現 3 回生)。

- ① 計量経済学や統計学の知識がある
- ② 統計ソフト R の使用経験がある

田中 英明ゼミ TANAKA HIDEAKI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

貨幣・信用機構を中心に、資本主義経済システムの歴史的進化を読み解くための基礎理論

主著『信用機構の政治経済学－商人的機構の歴史と論理』（日本経済評論社 2017 年）

【先生より】

自分の学生時代を思い返してみても、やはりゼミでの発表の時の緊張感や、ちょっと背伸びした議論、はたまたゼミの仲間とのあれこれが真っ先に思い出されます。このゼミでも、単なる知識というよりも、考え方や課題の見つけ方、報告や議論の仕方こそを、そして心置きなくつきあえる仲間を、一生の財産としてほしいと願っています。

【連絡先】

tanaka@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミ内を 3, 4 名程度でグループに分けて、特定のテーマについて輪読、意見交換、またそこで出た意見のグループ発表、グループ対抗のディベート戦などを中心に活動をしています。

【活動時間】

グループ発表やディベートの準備などでは、必要に応じてグループ内で相談し、昼休みや空き時間を利用し Teams や LINE などを活用したサブゼミや進捗状況の確認などを行っています。

【課外活動】

コンパなどの活動は、ゼミ生の企画次第です。過去にはゼミ生の主導でゼミ協主催の学内発表への参加や、ゼミ合宿を行った年もあります。

【卒論テーマ】

グループ研究を発展させ、地域社会の活性化などを検討したものが多いです。ただ、研究テーマについてあまり限定はしていません。各自の進路などを踏まえて選択する結果、毎年多様なテーマの卒論がみられます。

【ゼミ生より】

「地方創生」について考える機会は様々な講義であると思いますが、そのような講義では扱わないような視点から主体的に研究し、グループ内でさらに意見を交換してプレゼン・ディベートができるような機会は少ないと思います。ですので、このような「地方創生」に強く関心を持っている方にはおすすめです。また、男女ともに仲良く、ゼミ自体もゆるくもきつくもないという雰囲気であるため、楽しく活動に参加できます。

【人数】

専門演習Ⅰ：男 12 人 女 4 人

専門演習Ⅱ：男 12 人 女 4 人

【就職(進路)状況】

ゼミ卒業生の就職先は、製造業や金融がやや多いですが、多様な業界や公務員（財務省、県庁、市役所、税関など）に進んでいます。大学院への進学者もいます。

【入るための目安(条件)】

所属学科や学習類型は問いません。「地域社会の危機と再生」というテーマにグループ発表やゼミ内のディベートを中心に、それぞれの知識と習得したツールなどを活用して挑みます。コミュニティの再構築、格差と福祉、環境などの諸問題に興味や関心を有する学生を歓迎します。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

産業組織論、環境政策論、最近はソーシャルキャピタルや環境、街づくりなどを通じて、どうしたらそれぞれの人の幸福度を増進していけるのかについて主に研究しています。

【先生より】

変化の激しい時代にあって、ますます柔軟性が求められてきていると思います。皆さんのやりたいことの実現のお手伝いをしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【連絡先】

knakano@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

4つのグループに分かれてそれぞれの研究や活動をしています。

【活動時間】

金曜日3限

【課外活動】

現在はコロナの影響により、研究や活動をしています。

【ゼミ生より】

ゼミ生の早川です。私が思うこのゼミの良さは、いい意味で自由に活動を行うことができることです。自分がやりたいこと、知りたいことをテーマに置いてグループで活動をすることができるため非常に充実した時間を過ごすことができます。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:17人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:17人

【就職(進路)状況】

金融系、メーカー、コンサルタント会社など多岐にわたります。

【入るための目安(条件)】

特になし

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

研究分野:行動ゲーム理論、行動意思決定理論、適応的学習理論、行動経済学、ミクロ経済学理論

概要:限定合理的な意思決定者の(戦略的状況や個人意思決定問題における)学習行動や学習によってもたらされる長期的な結果を理論的に考察しています。

【先生より】

ミクロ経済学、ゲーム理論、行動経済学、行動ゲーム理論、実験経済学などの専門書を輪読することになります(いくつか候補を出し、どの本を輪読するかを投票を行います)。経済学分野でも応用的な内容を取り扱う予定なので、ミクロ経済学やゲーム理論を履修することを強く勧めます。課外活動の有無はゼミ生の自発性や私のスケジュールに依存します。

【連絡先】

naoki-funai@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

主にミクロ経済学、行動経済学、ゲーム理論、行動ゲーム理論についての書籍の輪読。

【活動時間】

毎週金曜日 3 限

【課外活動】

ゼミ生の主体性に依存。

【卒論テーマ】

ゼミで取り扱った内容(行動経済学・ゲーム理論・ミクロ経済学・市場関連)から興味のある分野。

【ゼミ生より】

今年度より開講されたゼミです。

本ゼミは各自がやりたい分野から参考図書を決定し、そこから範囲を決めて発表をしていきます。とてもアットホームな雰囲気、全員が一つの課題について素直に意見を言えるような良い環境です！先生はとても優しく、ゼミ生が主体となって動けるようにサポートをしてくださいます。そしてピザがとても好きです。

「行動経済学・ゲーム理論に興味がある！」「ゼミって未知だけど楽しくやりたい！」という方はぜひ府内ゼミへ！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:9人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:-人

【就職(進路)状況】

なし。

【入るための目安(条件)】

ミクロ経済学A履修済であること。

行動経済学・ゲーム理論の分野に関心があること。

府内ゼミに熱意を持っていること。

各学年の人数は10人未満を予定しています。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

グローバル経済における租税システムについて主に研究しています。

OECD や EU における税制に関する経済のグローバル化への対応、グローバル化は日本の税制にどのような影響を及ぼしてきたかなどについて取り組んでいます。

【先生より】

ゼミは3回生と4回生合同で、3限、4 限連続で行います。お互いに交流することにより学び合うことを目指しています。

ゼミでは卒業論文に力を入れています。卒論テーマは財政に関係していることに限定していますが、財政が関係することは広範囲ですので、それなりに自由に選べます。一度テーマを選んだら、楽しみながら探求して欲しいと思っています。完成まで適宜サポートしますので、一緒に頑張りましょう。

【連絡先】

松田先生のメールアドレスです
yu-matsuda@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

春学期は財政学の基礎について学びます。テキストの内容を各章ごとに分担し、簡易的なレジュメ作成とプレゼン・ディスカッションを行います。その後自分の興味のある分野を見つけ、卒論テーマとして研究を進め、各自報告していくという流れになります。その他、四回生の卒論発表やフィールドワーク前後の調査報告などがあります。

【活動時間】

金曜日の 3・4 限連続で行われます

【課外活動】

特定の場所ではありませんが、基本的にゼミ生の希望で行います。春と秋にはフィールドワークに行く予定です。

【卒論テーマ】

「アーツカウンシルの進展に係る地方創生の可能性について」

「PFI 事業における VFM と評価方式についての実証分析」

【ゼミ生より】

財政学は地域経済、財政、社会保障制度といった様々な分野に関連しています。毎週の担当者プレゼンとディスカッションによって、財政学の基礎と一緒に、レジュメのより良い作成方法や現在の制度と関連した知識を深めることができます。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:4 人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:5 人

【就職(進路)状況】

村田機械、中日新聞社、税理士法人 TACT 高井法博会計事務所、製薬会社 など

【入るための目安(条件)】

どなたでも

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

現代経済学の基礎を築いたレオン・ワルラス(1834-1910)の経済思想を中心に研究しています。主にスイスやフランスを中心に国際的な研究活動を行っています。研究活動の詳細については、私のウェブサイト <https://kayokomisaki.com/> でお知らせしているので、ご覧ください。

【先生より】

御崎ゼミは、経済学史の授業です。経済学の歴史や思想的な側面に興味がある人を歓迎します。ゼミでは、個人の研究報告を中心に進めますので、グループで何かを研究するというよりも、マイペースで自分の好きなテーマに自主的に取り組むことが得意な人に向いています。皆さんには、自分の頭で考え決断することができる真のビジネス・リーダーになってほしいと考えています。ゼミでは皆さんの自主性を最大限尊重します。自分自身の研究テーマを見つけ、ほかのゼミ生と切磋琢磨しながら、質の高い卒論を書き上げ、「優秀卒業論文」の受賞を目指してください。

【連絡先】

kayoko@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

三回生の春学期はアダム・スミスの『国富論』を輪読します。ゼミ生各自で担当する箇所を読み進めて、プレゼンの準備をして報告します。夏休み前に各自が研究テーマを決定し、そのテーマに合った本を夏休み中に一冊読みます。その後は各自の研究を進めていき、秋学期はその研究についての個人報告を行います。

【活動時間】

出席の義務があるのは月曜日3限のゼミの時間のみです。自分が担当する輪読の準備や研究は各自で行います。サブゼミはありません。

【課外活動】

昨今の事情により行えるかわかりませんが、例年は夏休みに3回生が企画する日帰り旅行があり、ゼミ生のほぼ全員が参加します。また2月には日帰り卒業旅行に出かけます。参考までに、過去の旅行先を紹介します。2018年の夏休み日帰り旅行は、長浜黒壁見学とステンドグラス体験教室、2019年の卒業日帰り旅行は、京都「おたべ」工

場見学と京都水族館見学でした。

【卒論テーマ】

テーマは基本的に自由ですが、経済学の歴史や思想に絡めて論文を作成することが条件です。御崎ゼミは毎年、「優秀卒業論文」を受賞しています。SULMS から過去の優秀卒業論文を参照してください。

【ゼミ生より】

御崎ゼミは春学期に輪読、秋学期に個人研究の報告を行います。これらは基本的に各自で文献読み進めていくため、自分で考える機会が多くなるので主体性が身につきます。輪読では最後に問題提起を行い、それに対しての解決策や意見をディスカッションするので、論理的思考の基礎を養うこともできます。先生からプレゼンの内容についてフィードバックがあるので、回数を重ねるごとにプレゼンの内容も向上します。ゼミ全体の目標は質の高い卒業論文を作成することです。春学期に輪読する『国富論』を読んで卒業論文のテーマや方向性のベースを決めるので、早い段階から卒業論文に取り組むことができ、サブゼミもないので自分の研究に時間をかけて取り組みます。自分のペースで物事に取り組みたい人には相性が良いゼミだと思います。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:7人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:4人

【就職(進路)状況】

(2021年・2022年卒業生) 株式会社アルペン、岐阜市役所、山九株式会社、第一生命保険株式会社、名古屋高速道路公社、キャノンITソリューションズ
ビーネット

【入るための目安(条件)】

経済学史のゼミなので、経済学の歴史や思想に興味がある人に向いています。ゼミ生の選抜では、志望動機が良く書けている人から優先的に入ってもらっています。成績はあまり関係ありません。



I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野】

- サステナビリティ学
- 環境経済学・環境マネジメント

【先生より】

- 学生と知的に面白いことをやりたいと思っています。学問を楽しみたい学生が来てくれるとよいと思っています。
- 企業コンサルティングやシンクタンクなどで実務をしていたため、学問と実践の境界領域・相互作用に関心を持っています。楽しく厳しく学問に取り組み、近い将来の仕事実践に対して、深く準備してもらいたいと思います。
- ゼミ生が想定外の素晴らしい可能性や未来を見つけられるゼミにしたいと考えています。

【連絡先】

Ko-mori@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3年生

- ◆ 多様な日本語文献を読み、プレゼン・議論を積み重ねます。ハウツー本や小説などの軽い本から学術書まで多彩な本を読みます。
- ◆ 英語文献も読みます。
- ◆ 統計学・計量経済学の基礎を学びます。
- ◆ フィールドワーク法、インタビュー法、アンケート調査法を学びます。

4年生

- ◆ 卒論プロジェクトを実施します。
- ◆ 卒論を完成させ、報告会で発表してもらいます。

【活動時間】

調整中ですが、金曜日 3・4 限が登録上の専門演習の授業時間です。実際には、金曜日の午後を全て使います。この点を予め了解のうえ、希望してください。

【課外活動】

- 2021 年度と 2022 年度は、環びわ湖コンソーシアムから外部資金を得て、長浜市をサイトとしてプロジェクト活動（現地調査など）を実施しています。来年度については何も決まっています。
- ゼミ遠足やゼミ合宿を行う場合があります。参加の有無は個人の自由です。



【卒論テーマ】

経済学、経営学、社会学、サステナビリティ学、環境経済学など多様です。

【ゼミ生より】

- ゼミでの勉学を重視していない学生には来てもらいたくないです。
- 学問や議論を楽しくやりたい人が向いています。受け身一辺倒の学生は向いていないと思います。
- 卒業生たちとつながっていて、多面的に自由に交流・コミュニケーションを取っています。

【入るための条件：入ったあとに求められること】

- 教員や他の学生ときちんとコミュニケーションを取ること。
- 日本語文献・英語文献をきちんと読んでくること。
- 手がけている課題に対して、愚直に全力を尽くして、可能な限り高いレベルになるように取り組めること。労を惜しまないこと。
- 知的に面白いことをやりたいと思っていること。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：5人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：11人

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

学部・大学院の時に労働問題に大変興味をもち、歴史的背景や制度分析を通じて労働研究をしてきました。最近ではアジアの労働市場、特にベトナムにも関心を広げて現地調査をしています(コロナ禍で現在は待ち状態)。

- ・日本の労働に関するジェンダー研究
- ・若年女性の生活の質研究(生活実態や主観的幸福度について分析)
- ・ベトナム労働市場と雇用制度の研究

【先生より】

多くの文献を読んで幅広い知識を修得し、深めることができるゼミでありたいです。

ゼミ生には研究発表をベースにしながら、これまで履修してきた各講義内容を活かし、自分の問題関心を明確にしてほしいです。また、卒論完成に向けての勉強にも励んでもらいたいです。

【連絡先】

オフィスアワーを希望(金曜日の昼休み)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

年間を通じて、ゼミでは文献テキストについて議論し、ゼミ生の問題関心にそって個人報告をしていきます。日頃勉強している、あるいは勉強してきた知識を応用しながら、各自の研究課題を設定し、分析作業に取り組んでもらいます。ゼミ学習の基本は「多読」と「プレゼン」で構成されています。

春学期では労働関係の基本文献を読んでいます。秋学期では個人研究の発表機会を増やします。ゼミ生間で知識を共有し、議論を積み重ねて卒業論文の完成を目指します。

【活動時間】

時間割上の専門演習

【課外活動】

特に設定はしていませんが、コロナ禍が早く終息し、ゼミ生の希望があれば事業所や工場などの見学を皆で計画してもよいですね。これまで様々な工場見学に行きました。

【卒論テーマ】

労働問題を取り上げる学生が多いです。例えば、次の内容です。

- ・正規・非正規の格差問題
- ・ブラック企業
- ・有給休暇取得率の向上
- ・女性政策
- ・外国人労働問題
- ・働き方改革
- ・ベーシックインカム
- ・AIと雇用
- ・長時間労働
- ・カスタマーハラスメント
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現策
- ・サードカルチャーキッズの現状と支援状況
- ・高齢者雇用、など。

【ゼミ生より】

活動に真面目に取り組むゼミでありながらも課題に追われるといったこともなく、課外活動やゼミ以外の勉強との両立が図りやすいゼミであると思います。聞き慣れない用語に関しても先生が丁寧に解説してくれるため、知識習得に強みがあるゼミでもあります。就活などゼミに関連しないことの相談にも親身になって聞いてくれる優しい先生です。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：5人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：5人(秋学期からは8人の予定)

【就職(進路)状況】

公務員、製造業、金融業、総合商社、情報通信、海外の大学院進学など。

【入るための目安(条件)】

労働関係の講義を履修済みの方が望ましいです。労働問題に関心のある人や、文献を多読してプレゼンをしていくので、インプット／アウトプットの作業が好きな人はどうぞ参加してください。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

環境や法律・政治問題、更にはスポーツ活動等、一般には市場取引に馴染まないと考えられているような人間活動(広義の経済活動)を、社会として望ましい状態に誘導するにはどのような制度・政策が必要となるかを、主にミクロ経済学の視点から分析・解明したいと考えています。この基盤として、「あらゆる人間活動は、多かれ少なかれ、経済的価値観に支配されている」という信念があります。

【先生より】

何かに向かって意欲を持って努力することを厭わない人をゼミ生として歓迎します。その際、学問の重要性・有用性を理解していることが理想的です。ゼミとしての具体的な目標や統一的な研究テーマは特に設けていません。ゼミの構成員各自が、その個性を最大限発揮できる環境作りをめざしたいと思います。こうした観点から、課外活動(部活動他)をしている人も大歓迎です。

教員としては良くない考え方もかもしれませんが、専門演習も所詮はカリキュラム中の一科目にすぎません。講義中の活動(+そのための準備・振り返り)さえしっかりやってももらえれば、その他の時間は各自が自分の判断で有意義に過ごしてもらいたいと強く思います。

【連絡先】

wada@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

例年の実績を紹介すると、Iでは共通の文献を選定して輪読するのが通例です。希望者が多ければ、プログラミングやデータサイエンス関係の書籍を採用しても構いません。IIでは各自の研究テーマに関する基本事項・先行研究を報告し合います。III以降で各自の研究を本格的に推し進め、最終的にIVで卒論を完成させます。ただしIについては、参加者が発言しやすい形態を模索中で、変更する場合もあります。

【活動時間】

上でも述べたように、必要最低限の拘束(=授業時間)以外の使い方は、基本的に各自の判断に任せます。

【課外活動】

恒例行事のようなものは特にありませんが、受講生からの要望があれば、出来るだけ実現できるように協力したいと思います。これも繰り返しになりますが、ONとOFFの切替えさえ意識してもらえれば、むしろ様々な講義外の諸活動を奨励します。

【卒論テーマ】

卒論は専門演習における最大の成果だと信じていますが、過去のゼミ生が選択したテーマについては実に幅広い分野に跨っています。比較的スポーツに関するものが多いという印象があります。

【人数】

専門演習I・II: 12人

専門演習III・IV: 6人

【就職(進路)状況】

残念ながら意に反して(または戦略的に)留年する人もいますが、過去の実績では公務員(国税局や市役所)、各種団体(私立大学やJAの職員)、民間企業(金融機関・メーカー・人材派遣業他)等、進路についても様々な分野・業種で活躍してくれています。

【入るための目安(条件)】

学力面では特に要求しませんが、教員(私)が喫煙しませんので、教員と同席の際にタバコを我慢できることを挙げておきます。(大学構内は全面禁煙ですが学外も含めてという意味です。)同席でなければ、喫煙していても構いません。また輪読用の書籍購入費として、1,000円程度の負担を求める場合がありますので留意願います。

最後に、言うまでもないことと思って過去の紹介文では言及して来ませんでしたが、毎回の授業に(自分が報告者の週以外であっても)出席することを挙げておきます。もちろん、どうしても欠席せざるを得ない場合にはその旨連絡して下さい。

ファイナンス学科

井手 一郎ゼミ IDE ICHIRO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

国立大学の輪郭、探究の条件、金融の公共経済学、金融動学、サービス・イノベーションの経済理論

【先生より】

経済学的構想力と理論の理解を重視するゼミです。研究の方法は必ずしも数理的でなくてもよく、研究対象の選択も自由ですが、方法の吟味、分析の徹底、研究の意味付け、伝統との関係、表現の明晰さ、等を問われることになります。自分のためだけでなく、他の人のためにも、積極的に共同調査や議論に参加しましょう。

現場から独力で課題を見出し、経済学的な要点を押さえて、問題解決の大きな方向性を過たない人が育てば、ゼミは成功であったと言えるでしょう。

【連絡先】

ide@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

春学期:いくつかの定番の論文・記事・書籍を読み、経済研究のガイダンスとします。ミクロ経済学の教科書や問題集などを使い、理論の理解を確認しながら進み、標準的なミクロ経済学の復習をします。夏休みに共同で調査に着手し、論文をまとめる練習をします。

秋学期:各人が自分のテーマに従って調査・モデル化等を試み、自分の研究レポートを作成します。

【活動時間】

通常、水曜日の 3・4 時限にゼミがあります。休暇中に 1 日を使って集中的な勉強会を行います。その他、論文をまとめる場合には、随時、授業を行います。夏季休暇中など、遠隔でOKの場合には、Zoom 等を使い短い意見交換を行います。

【課外活動】

感染症が蔓延する前は、コンパをしていました。希望者の多い年には、2泊3日程度の合宿勉強会を行いました。

【卒論テーマ】

「タバコから考える今後の日本社会」
「在宅勤務下での住宅選択モデル」
「企業がオープンソースソフトウェアを開発するメリット」
「政策としての『街コン』の可能性」
「エネルギー自立と地方創生:ドイツの地域密着型事業体を事例に」
「日本の中古住宅市場について:その問題と解決策」
「ソフトウェア産業の産業構造の転換と企業・技術者の在り方についての提案」
「日本の観光政策の現状分析と観光客増加政策」

等、様々。

【ゼミ生より】

このゼミでは主に学部中級ミクロ・マクロ経済学の定番の教科書を使用した習得を中心とし、そこから発展して様々な興味深い経済の文献や論文に触れる事が出来るので、経済学に対する学習意欲のある方にはおすすめです。ゼミ生の自主性を重んじながらペースに合わせてやってくれるので、難しい内容もありますが疑問点を解消しながら着実に理解を深めていく事が可能です。こうして習得した知識を基にして論文の完成を目指します。先生は穏やかで、落ち着いた雰囲気の中で学ぶ事が出来ます。

【人数】

Iゼミ:男1 女0

IIゼミ:男3 女0

【就職(進路)状況】

銀行、メーカー、情報系、公務員、国立大学、大学院進学など。

【入るための目安(条件)】

コアミクロ経済学 A・B を履修済みであるか、それと同等の知識を有すること。少なくとも、ミクロ経済学の学習意欲を持つこと。

菊池 健太郎ゼミ KIKUCHI KENTARO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

金融・ファイナンスに関する理論モデルの構築とデータ分析を中心に研究しております。特に、資産価格モデルの構築と実証に興味があります。この数年間取り組んでいるテーマは下記の通りです。

- ① マイナスイールドカーブを踏まえた金利期間構造モデルの構築と実証分析
- ② グローバル同時価格付けモデルの構築と推定
- ③ ポートフォリオ最適化理論の構築と数値分析

【先生より】

金融機関だけでなく、多くの企業においても金融面における課題解決が求められている時代です。在学時から、実践的な金融分析力を身につけるべく学習を積むことは、社会に出てからも糧となることでしょう。

実践的な金融分析力を支えるものは、金融・ファイナンス理論への十分な理解とデータ分析能力です。このゼミでは、金融ファイナンス理論の理解だけでなく、データ分析を遂行する力の醸成を目指します。

【連絡先】

kentaro-kikuchi@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

講師は、12 年間日銀で働いていました。そこで培ったものをゼミ生の皆さんに伝えていければと考えております。理論解説にとどまらず、理解を確実なものとするため、演習もたくさん取り入れる方針です

2023 年度のゼミの学習内容の予定は下記の通りです。
春学期：データ分析を行うための基礎体力作りの学期です。数学(行列・ベクトル、微積分、確率)、Python プログラミングの基礎、回帰分析を学習します。

秋学期：春学期に培った知識を応用する力の習得を目指します。具体的には、計量経済学や機械学習の理論や手法を学び、それを Python 言語で実装します。データを分析する面白さを実感してもらいたいです。

【活動時間】

週 1 回の演習の時間のみ。事後学習では Python 言語で試行錯誤する時間を確保してほしいです。

【課外活動】

特に予定しておりません。ゼミの先輩達の何人かは証券アナリスト試験や統計検定などに挑戦し、在学中に専門性に磨きをかけておりました。

【卒論テーマ】

テーマは自由ですが、金融・ファイナンス理論に根差したものであると、指導しやすいです。

(今までの主な卒論テーマ)

- ・リスク指標に基づくポートフォリオ最適化
- ・民間金融機関による農業活性化のための ABL とアグリビジネス
- ・Amazon 社の改革 “career choice” の将来性
- ・企業の社会的責任—CSR の変遷と戦略的 CSR—
- ・行動経済学とナッジの公共政策への活用
- ・仮想通貨
- ・最後通牒ゲームに関する理論のサーベイ
- ・DCF 法 (割引キャッシュフロー法) と M&A

【ゼミ生より】

(2022 年・3 年生)2022 年春学期には数学と Python プログラミングの基礎を学びました。Python で簡単な回帰分析ができるようになりました。

金融理論を数理的に解析するための道具をたくさん学べます。

【人数】

専門演習 I・II : 9 人

専門演習 III・IV : 9 人

【就職(進路)状況】

卒業生の就職先は、資産運用会社(生保系)、証券会社、損害保険会社、地方銀行(地銀、第二地銀)、システム会社(金融系、他)、小売、機械設計などです。今年度就職活動の内定先は、資産運用会社(銀行系)、証券会社、総合電機業などです。

【入るための目安(条件)】

- ・自主性。
- ・勉強が好き。
- ・数学への苦手意識はないほうがよい。

楠田 浩二ゼミ KUSUDA KOUJI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

金融経済学・金融計量経済学、特に、資産運用と資産評価の理論・実証研究を行っています。最近では、最適資産配分に関する菊池先生との共著論文を国際誌に投稿しています。

【先生より】

デジタル人材が必要とされている時代であることを踏まえて、ゼミⅠ・ⅡではPythonによる機械学習の演習を行います。ゼミⅢでは、ゼミ生の意向を踏まえたデータサイエンスを行いますので、関心のある学生は、ゼミ選択の際に、相談にお越し下さい。

【連絡先】

kusuda@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミの代によって勉強する内容は少々変わるかもしれませんが、私たちの代はまずPythonを用いてプログラミングの基礎から学び始めました。就職活動を本格的に始めるまでに機械学習の基礎の勉強をある程度終わらせ、その後はゼミ生が学びたいことを中心に勉強を進めていきます。今年はゼミ生の中にマーケティングに興味があるという学生がいたので、マーケティングの際に活用できる機械学習の手法などの勉強していく方向で進んでいくと思われます。

【活動時間】

基本週1コマ

Ⅰゼミ:金曜3限

Ⅱゼミ:金曜4限

【課外活動】

特にありません。

ゼミ生が少ないからこそ、何か興味のあることや参加したいイベントがあれば、柔軟に対応することができる環境だと思います。

【卒論テーマ】

まだ詳しく決めていませんが、統計ソフト等を利用した分析は取り入れると思います。

【ゼミ生より】

楠田ゼミは人数が少なく、他のゼミのような和気あいあいとした雰囲気ではないかもしれませんが、少人数であるため個人の裁量が大きく、基礎的な内容を終わると発展的な学習は個人の意志によって変更できます。また、主体性がかかり求められるため、勉強意欲のある方にお勧めです。

また楠田先生は日本銀行に勤められていた経験をお持ちなので、私たち本人よりも就職に関して真剣に考えてくださり、相談にも真摯に乗ってくださるとも頼りになる先生です。

【人数】

専門演習Ⅰ:男1女1

【就職(進路)状況】

金融機関、院進学等

【入るための目安(条件)】

統計学A・Bの単位を取得しているほか、DS学部で数学・統計学・DS関連単位を5科目程度取得しているのが望ましいです。不安な方がいらっしゃったら、一度先生と面談されると良いと思います。

もちろんDS副専攻を取っている学生も大歓迎です！

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

私は金融又は財政分野に関する調査研究や実証分析等に関心を持っております。これまでは、行政職員として地域金融機関の監督業務や金融機関の破綻処理等に関する金融実務をはじめとして様々な政策分野に携わってきましたが、当該経験も活かしながら、今後、金融分野（例えば地域金融関連）に関する研究を行っていきたいと考えています。

【先生より】

私はこれまで、行政職員として、財務省、金融庁、財務局（財務省の地方支分部局）、預金保険機構、行政改革推進本部事務局、原子力損害賠償・廃炉等支援機構など、様々な行政分野に携わってきました。特に、地域金融機関の監督業務等の金融実務経験が長く、地域金融をはじめとした様々な行政経験から得られたことをゼミ生に伝えていきたいと考えています。

ゼミでは、金融（あるいは財政）をテーマとして取り上げていきたいと考えています。具体的には地域金融関連を考えていますが、当該分野に限らず、ゼミのテーマや運営方法についてゼミ生の意見も取り入れながら決めていきたいと考えています。

これまで学んできた様々な制度・理論について、実務ではどのようにそれらが機能し、又はどのような課題に直面しているか等も含め、ゼミ生と一緒に考え、議論していきたいと考えています。

【連絡先】

noriyoshi-muro@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミでは、金融（あるいは財政）に関する基本的な事項やゼミ生が関心を持つようなテーマ（例えば地域金融など）に関する書籍を輪読する予定です。

【活動時間】

専門演習Ⅰ・Ⅱ 水曜日3限

専門演習Ⅲ・Ⅳ 水曜日4限

【卒論テーマ】

昨年度卒業生については、特に教員側から提示したわけではありませんが、「地域銀行の新たなビジネスモデル」「地方銀行の地域密着経営と再編」「銀行の顧客接点」「6次産業化」「SDGs と銀行」「日本のキャッシュレス推進方策」「ブロックチェーン技術」「IR」「テレビの未来」に関するものがありました。

【ゼミ生より】

金融や財政と聞くと少し難しく感じる人もいるかもしれませんが、基礎から無理なく学べて、分からないことも先生が詳しく教えてくれます。ゼミの雰囲気はとてもおだやかで全員が意見を言いやすく、色んな知識を取り入れられます。

扱う書籍や授業のスタイルなどに関しても、先生が私たちの意見をたくさん聞いて取り入れてくださるので、とても快適に学ぶことができます。

部活やアルバイトをしている人でも両立できるゼミです。皆さんで盛り上げていきましょう！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：5人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：4人

【就職（進路）状況】

金融（メガバンク、地方銀行、第二地方銀行、系統金融機関、政府系金融機関、証券会社、生命保険会社）
メーカー、卸小売、地方公務員など

【入るための目安（条件）】

特に条件はありません。金融（あるいは財政）に関する諸問題に関心があり、ゼミで一緒に考えていきたい方を歓迎します。

I.ゼミの先生のプロフィール

【近年の研究課題】

- ① トルコ輸出企業の貿易信用契約の決定要因
- ② 日本の経常収支変動の解明
- ③ 世界貿易に内在される汚染排出量の計量分析

【研究活動】

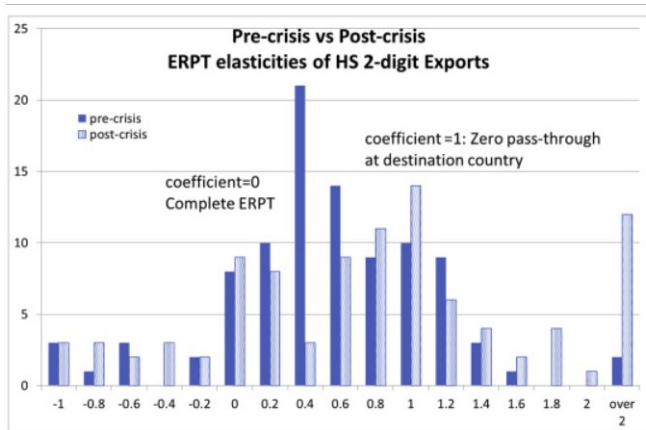


International Review of Economics & Finance
Volume 56, July 2018, Pages 507-537



Decomposition of Japan's trade balance ☆

Yuri Sasaki , Yushi Yoshida



Note: The point estimates of ERPT elasticity coefficients of HS 2-digit Japanese exports are summarized for the pre-crisis and post-crisis subsamples.

(転載: Sasaki and Yoshida (2018))

2019 年～2020 年初頭までは、トルコとフランスの研究者と共同研究や、国際学会を彦根で主催するなど国際的な研究活動を積極的に展開していました。近年の国際論文としては、「貿易に内在する汚染排出量」の研究を Economic Modelling (2020)と Journal of International Trade & Economic Development (2019)、「立地と輸出」の研究を World Economy (2018)、「日本の貿易収支」の研究を International Review of Economics & Finance (2018) に掲載しました。今年はリモートで霞が関にある経産省の(独)経済産業研究所(RIETI)の研究会にて政策提案の研究活動(毎月)をしています。



【教育方針】

「ちょうど手が届くか届かないところにノックする」指導が、ゼミ生の団結力を育んでいると信じています。

【連絡先】

Email: yushi.yoshida@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【先生より】

日本経済と世界は、相互に影響を強く与えています。アメリカ金融危機(2008 年)、日本の貿易収支赤字化(2011 年)、ギリシャ危機(2015 年)、Brexit(2016 年)、COVID-19 世界経済危機(2020 年)。このような国際的な現実を根本から理解していくことを目的としています。国際的な視野を身に付けたい方、ぜひ参加して下さい。短期・長期の留学を目指すゼミ生がいつもいます。(長期留学 H27: 米国 1 名、ロシア 1 名、H28:米国 1 名、H29:米国 1 名、H30:米国 1 名、R1: 米国 1 名)

【ゼミの内容】

研究テーマは、国際金融・国際経済(貿易・直接投資)です。(R2 年)3 年ゼミでは『国際経済(開発経済)』と『回帰分析』のテキストを交互に用いた報告をしています。応用・専門的な部分では、国際学術論文(英語)も用います。国連(UN)や世界銀行(World Bank)のデータベースも活用したデータ分析も学びます。卒業論文では、現実の事象を自己の力で理解できるようになるため、データ分析を用いる研究論文を作成していきます。



「はじめて学ぶ国際金融論」(2015)
有斐閣

【課外活動】

基本的にはゼミ生のやりたいことをやっています。
(従来であれば、)11 月頃に行われる学外の研究発表大会には、ゼミ生全員で自主的に参加しています。12 月は 2・3 年生も参加する卒論発表会を行い、全学年合同親睦会を催します。

【ゼミ生より】

吉田ゼミは国際経済や国際金融を学ぶゼミです。ゼミ生は順番に各々教科書に準拠したレジュメを作成して、皆にプレゼンします。そこで生じた疑問などを全員で共有して議論しますが、あくまで吉田先生はオブザーバーとして基本的には学生で話を進めます。もちろん行き詰った際には非常に有益な提言をしてくださいます。吉田先生は学会の活動などにも非常に熱心で、博識で授業の内容もレベルが高いです。普段勉強の時、写真やコメントなどを teams にアップロードして、思い出せるようにしています。また、勉強についてわからないところがあったら、先生に聞いて、詳しい答えがもらえます。吉田ゼミに興味のある方は是非、吉田先生の授業に出てみてください。

【人数】

I ゼミ: 男 7 名 女 3 名
II ゼミ: R4 は教員サバティカルのため募集停止
(留学復帰男 2 名) R3(男 6 名 女 5 名)

【就職(進路)状況】

近年の主な就職先: 銀行・保険・製薬・研究所・情報通信・商社・物流・電気機器・工作機械等。

R4 大阪大学経済学研究科、(英国大学院)SOAS University of London

大学院吉田ゼミ(R4 富山大学助教)

【入るための目安(条件)】

「ゼミの勉強で忙しくなりたい」くらいの熱意をもって国際金融・国際経済を学び、データ分析をしたい人。英語力を上げる気持ちがある人。(通常は、一次か二次で打ち切ります)

【アピールポイント】

卒業生からの言葉:「大学で学んだことは会社ではほとんど活かさないと言われるかもしれませんが、ゼミで学んだ資料作成や為替などの視野の広さは働く上でかなり活かされていると日々感じます。」

【ゼミを一言で表すと】

世界から学び、世界に教える力を身につけよう

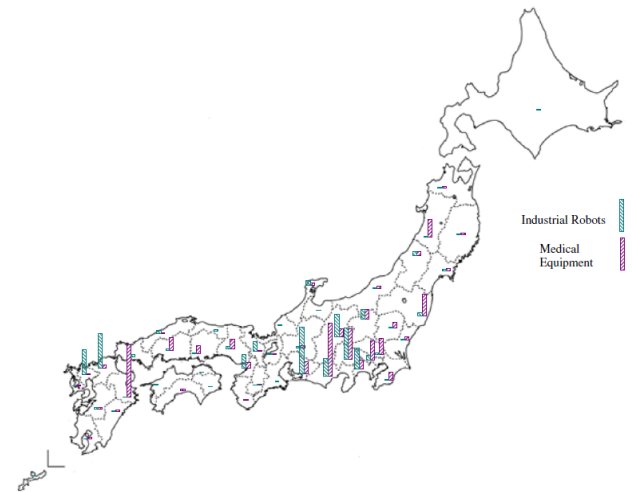


FIGURE 3 Regional production in 2005: Industrial robotics [JSIC2698] and medical equipment [JSIC3131]
Note: The value of production for each industry in the prefectures is represented by the relative heights of the bars. The figures are calculated by the authors using the *Census of Manufacturing*. [Colour figure can be viewed at wileyonlinelibrary.com]

(転載: Hirose and Yoshida (2018))

企業経営学科

小野 善生ゼミ ONO YOSHIO

I.ゼミの先生のプロフィール

【現在の研究課題】

- ・ 経営者のリーダーシップに関する研究
- ・ 酒造業経営者の企業家行動に関する研究
- ・ 彦根バルブ産業の発展に関する研究

【研究活動】

実施中のフィールド調査

- ・ 滋賀県・高知県・和歌山県の酒造業経営者および関係者を対象とした企業家行動に関するフィールドリサーチ
- ・ 彦根バルブ産業の経営者および関係者を対象とした産業集積の歴史と事業を発展させるマネジメントに関するフィールドリサーチ

直近の執筆活動

- ・ 「清酒製造業における革新 I -清酒の起源から諸白の登場に至るイノベーションの史的考察-」,『彦根論叢』429号 4-19頁, 2021年。
- ・ 「滋賀バルブ産業の生成と発展:企業家行動からのアプローチ」『彦根論叢』424号 4-20頁, 2020年。
- ・ 酒造業経営者の変革行動-滋賀県と高知県の中小酒造メーカーの事業変革に関する研究-,『滋賀大学 経済学部 研究年報』26巻 13-38頁, 2019年。
- ・ 『リーダーシップ徹底講座-すぐれた管理者を目指す人のために-』中央経済社, 2018年。
- ・ 『フォロワーが語るリーダーシップ-認められるリーダーの研究-』有斐閣, 2016年。

その他の活動

- ・ 実務家へのリーダーシップおよびマネジメントの研修講師
- ・ リーダーシップやマネジメントおよびモチベーションに関する講演

【教育方針】

「共に学び、共に成長する」

【連絡先】

yoshio-ono@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【先生より】

I ゼミの受講生へは、来年度の春学期では、モチベーションをテーマに文献研究をする予定です。また、秋学期

以降の研究プロジェクトに向けて研究方法論についても学びます。

秋学期は、リーダーシップやモチベーションに関するプロジェクト研究を実施したいと思います。

II ゼミの受講生には、卒業論文執筆のアドバイスをしています。なお、春学期では、論文執筆に向けた研究方法論も学びます。

【ゼミの内容】

上述したような文献研究、プロジェクト研究に加えて、映画がドキュメントを映像教材として用いたケーススタディ・セッションを実施しています。

また、ゲスト講師を招いた特別講義(コーチングやキャリアなど)を実施しています。また、実際に企業を訪問してフィールドワークを実施しています。

【課外活動】

I ゼミ:ゲスト講師によるスペシャルセッション(今年度は第1回としてコーチング入門セッションを実施しました)、企業フィールドリサーチ(今年度は9月に株式会社シャルマンに訪問することになっています)。

II ゼミ:卒業論文合宿(実施できる環境が整えば実施します)

学部・大学院合同の懇親会(同じく実施できる環境が整えば実施します)

【ゼミ生より】

魅力は、メンバーが多様で楽しいことです。個性豊かなみんなから色々な意見が聞けるのでお互いの刺激になっています。そして、小野先生はお話や議論が大好きで、ゼミ生の意見や悩みを聞いてくださったり、生徒に合わせたゼミの内容を考えてくださったりするので、先生と生徒の距離も自然と近づき、心理的安全性の高い環境で学べることも魅力のひとつです。発表やディスカッションが多いですが、その学びが必ず実生活にも繋がるし、発表や調査のスキルが身につくので、とても為になるゼミだと思います。

【人数】

I ゼミ:男4名 女7名

II ゼミ:男4名 女3名

【就職(進路)状況】

諸事情で詳細な状況を把握できていないのですが、製造・金融・小売・輸送関係に就職しています。

【入るための目安(条件)】

組織論・組織行動論・経営管理論・経営戦略論など経営学の領域の基礎知識があつて、特にリーダーシップやモチベーションといった組織と個人の関係に興味がある人。

【アピールポイント】

- 全てのメンバーが互いに切磋琢磨して成長しようという意欲がある。
- 全てのメンバーは、物事をより深く学ぼうとする好奇心がある
- 全てのメンバーは、対話を通じて共に学ぶ環境を創ろうという意欲を持っている。

【ゼミを一言で表すと】

「(学生・教員、立場に関係なく)全てのメンバーが成長を目指して、ささやかでも成長を実感できる場」

喜田 昌樹ゼミ KIDA MASAKI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

経営学やビジネスでのデータマイニング及びテキストマイニングの利用をアカデミック(方法論的)と実務的な面から研究を進めてきました。データマイニング及びテキストマイニングは、データサイエンスの中で重要な方法の一つです。そこから機械学習(AI)やデータサイエンスにもつながり、経営学でのアカデミックな活用法を研究の中心としています。

実務面では、日本企業でのデータ活用・分析(ビジネスデータサイエンス)の現状と課題を研究しています。

【先生より】

学生時代は幅広い読書を心掛けてほしいと思います。それが、今後の読書習慣を醸成することと卒業後生きてきます。

【連絡先】

masaki-kida@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

教科書及び参考文献の輪読及びグループでの報告を行い、その後、社会人教育で用いられているワールドカフェによるポスター作製を行います。

専門演習Ⅰでは、データマイニングの基礎と経営戦略論(一部経営組織論)の基礎知識を習得する。

専門演習Ⅱでは、データマイニングのビジネスでの実例を学習することを通じて、業界研究・企業研究の基礎を習得する。

専門演習Ⅲでは、卒論に向けて理論的レビューと対象としている業界・企業研究の選考研究をレビューする。専門演習Ⅳでは、各自のテーマに応じて卒業論文を作成する。

時間があれば個人面談なども考えています

【活動時間】

水曜 3 限

【課外活動】

サブゼミなどについては必要であれば後日相談します。飲み会など課題活動は学生の自主性にお任せします。

【ゼミ生より】

喜田ゼミでは、「データマイニング」というデータサイエンスの分野に焦点を当て「経営学」について学ぶことができます。データサイエンスの視点を用いて経営学における戦略論や組織論を学ぶことができるのは当ゼミの最大の特徴であり、他の企業経営学科とのゼミと異なる点です。当ゼミでは、データサイエンスの領域を扱いますが、統計学やプログラミング言語等の知識がなくても大丈夫です。

基本的な活動として、「ビジネスデータマイニング入門」という喜田先生の著書を読み、各週ごとに発表者がパワーポイントにまとめて発表をし、発表者以外にもグループに別れ、要点をポスターにまとめグループワークをするという形式をとっています。これはワールドカフェ方式と呼ばれ、企業の研修に使われており、グループディスカッションの練習になります。これにより、インプットとアウトプットができ「データマイニング」への理解を深め、発表によってプレゼン力もつけることが出来ると思います。また、著者である喜田先生からの解説を得られるので、より深く内容を理解することができます。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:男 5 人 女 0 人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:男 0 人 女 0 人

【入るための目安(条件)】

経営組織論、経営戦略論などの基礎知識があること。できればパソコンの基礎知識、パワーポイントエクセルなどが使えること。

澤木 聖子ゼミ SAWAKI SHOKO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

多文化経営組織における人的資源管理

日本企業における外国人労働力の活用

アジアの日系企業と現地の地元企業、外資系企業を対象に、人的資源管理の実態と組織で働く人々の職務満足や意識について実証研究を重ねてきました。現在は、日本企業の外国人社員の登用による人事制度の変化や、多様な人々、多様な働き方の人材マネジメントについて関心があります。

【先生より】

このゼミでは、相手や周りの立場にたって物事を捉え、その上でしっかりと持論を展開できるような人づくりをめざしています。ゼミは学生皆さんで作り上げていくものです。大学生活を通じて、自分と異なる人間との出会いを重視し、仲間となり切磋琢磨し、まじめに自分を高めたいと思っている人の入ゼミを期待しています。誰もが活躍の場を見つけて頑張れるゼミです。人生の礎を築く 20 代、鍛えましょう。

【連絡先】

506 研究室 sawaki@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

毎年、日本学生経済ゼミナール主催のインター大会、関西ブロックインター大会等に参加します。春学期は、これらの研究発表大会に向けて、企業や行政への調査研究活動を行います。8月も自主ゼミを活発に開いています。同時に、3 回生の秋学期から、進路活動と並行して卒業論文の早期着手も励行しています。

【活動時間】

正課のゼミは水曜日 3 限です。自主ゼミは、ゼミ生で決めた課外時間に行います。

【課外活動】

学部・大学院ゼミ合同での陵水会ゼミナール支援制度による企業見学、OB/OG との交流会、日本学生経済ゼミナール主催の各種大会や行事への参加、グループワークでの調査研究活動を積極的に行います。

【卒論テーマ】(2021 年度提出論文の一部)

・「経営戦略としての女性活躍推進」なでしこ銘柄の取

得は企業価値向上につながるか」

・「教育現場に与える学生スクールボランティアの効果と課題」ー公立小学校教員へのインタビュー調査から得られた声ー

・「日本におけるダブルケアラーの問題点と行政に求められる支援策の現状」ー地方都市における各自治体の事例を中心にー

・「早期化する大卒就職市場に就活ルールは必要か」ー制度の歴史から考える令和期の学生が求める就職活動システムと支援策ー

・「国内携帯電話キャリア業界の構造分析」ーマイケル・ポーターの5F モデルを通じてー

・「ポストコロナにおける欧州サッカークラブの外国資本マルチクラブ経営の研究」

【ゼミ生より】

澤木ゼミでは、様々な大学の研究チームが研究の成果を発表し、コンペティション形式で優勝を目指すインター大会に向けて仲間と共同研究を行います。自分にできることは何なのか、どうすればチームの研究の発展に繋げることができるのかを常に思考しながら毎回のゼミ活動に参加することで、自らの知見を広げられるなど、吸収できるものがたくさんあります。

本ゼミで活動し、新しいものを獲得する楽しさ、喜びをぜひ体感してください！

興味を持ったことについて積極的に研究をしたい人には最適なゼミです。インター大会に向けて、皆さんで頑張りましょう！！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：19 人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：14 人

【就職(進路)状況】

メガバンク、地銀、証券、日本郵政、製造業(食品、自動車部品、電機・電子)、IT、広告、商社、小売、卸売、人材教育、JA、公務員(市役所・県庁・警察官・国税局)、電力会社、新聞社、旅行、農業法人、大学院進学など。キャリア転向した OB・OG も多数。先輩による進路サポートも継承されています。

【入るための目安(条件)】

澤木の授業の受講経験がある人。「覚悟」のある人。「嘘」が嫌いな人。メールチェックを怠らず情報共有ができる人。「忍耐力」のある人。

柴田 淳郎ゼミ SHIBATA ATSUROU

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

日本型の会社制度及び日本型の新規事業育成制度を中心に日本企業の戦略展開と企業統治に関する国際比較研究をしています。また、滋賀大学に赴任してからは彦根仏壇産業や山中漆器産地など伝統産地の研究も行っています。

【先生より】

はじめまして！柴田ゼミでは経営学を枠に経営学や経営管理者の視点から理解したいと考える学生を募集します。ゼミ生に求める条件は、積極的にゼミの活動に参加する意欲が高く、ゼミの仲間と団結して仲良くゼミ活動を行っていただける学生です。留学志望の学生や留学生、編入生も積極的に採用します！

後述しますが、柴田ゼミではいわゆる机上での勉強ばかりをするわけではありません。夏合宿や名古屋市立大学との合同ゼミ、飲み会、BBQ 等、課外活動も積極的に行っています。新歓 BBQ や OB 会には多くの卒業生も参加します。OB とのつながりも強く就職活動支援にも力を入れています。学生生活を充実させたい！もっとゼミ活動を充実させていきたい！体育会とゼミ活動を両立させたい！OB とも深く交流したい！と考えている学生は是非、応募して下さい。

【連絡先】

a-shibata@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

「専門演習 I」:日本の経営の基礎を学習します。毎回のゼミで輪読及びプレゼンを行い、理論の理解とプレゼンのスキルアップを目指します。5 月には BBQ が開催されます。8 月には夏合宿が行われます(就活の関係で冬になる場合もあります)。

「専門演習 II」:10 月・11 月は文献の学習及び名古屋市立大学との合同ゼミが開催されます。12 月には、柴田ゼミの 4 回生から履歴書の書き方、面接のスキル等就職活動の支援が行われます。

「専門演習 III」:就職活動中でもゼミは開催され、卒業論文の作成が始まります。とはいえ、この時期は参加自由です。思う存分、就活に従事して下さい。

「専門演習 IV」:卒業論文の完成に向けて指導が行われます。

【活動時間】

ゼミはイベント対応を除き、月曜日 3・4 限に実施。

【課外活動】

新歓飲み会、新歓 BBQ、夏合宿、冬合宿、飲み会、名古屋市立大学との合同ゼミ、OB 会等々。

【卒論テーマ】

卒論テーマは経済・経営分野なら何でも OK。

【ゼミ生より】

2 回生の皆さん、初めまして！柴田ゼミでは課外活動での交流が他のゼミよりも多く、飲み会も多いのでゼミ生同士仲良くなりやすいです！ゼミの時間では、生徒がプレゼンをして、理解が難しいところを先生が補足してくださり、しっかり経営が学べます。また、他にも BBQ など楽しいことが盛り沢山です。ぜひ検討してみてください！

【人数】

専門演習 I・II:男9人 女6人

専門演習 III・IV:男7人 女9人

【就職(進路)状況】

キーエンス、川崎重工、神戸製鋼、ダイハツ、大林組、関西電力、中京電力、JT、住友理工、富士通、沖電気工業、アシスト、楽天、JTB、三菱食品、雪印メグミルク、味覚糖、ノリタケ、田辺三菱製薬、デンソー、トヨタ車体、ジェイテクト、クボタ、マキタ、日本電産シンボ、第一精工、日本精工、村田機械、デサント、TIS、NTT データグローバルソリューションズ、スミセイ情報システム、キャノン ITソリューションズ、NEXCO システムズ、NSD、丸石化学製品、三井住友アセットマネジメント、三菱 UFJ 信託銀行、瑞穂銀行、りそな銀行、オリックス、商工中金、日本生命、アフラック、東京海上日動火災保険、京都銀行、滋賀銀行、関西アーバン銀行、大垣共立銀行、京都市役所、滋賀県庁、J A、国内外の大学院進学等々。

【入るための目安(条件)】

成績と面接による総合評価。ゼミナール大会終了後から約 1 週間を面接期間とします。メールにて面接を申し込む旨、本頁の【連絡先】に連絡して下さい。

一学年で原則、男子 6 人、女子 6 人を採用します。これに留学生、編入生が年度によっては加入し、ゼミの最終人数が確定します。成績や TOEIC などの学力面も重視しますが、成績のみで採用するわけではありませんので、まずは気軽に申し込んでください。

清宮 政宏ゼミ SEIMIYA MASAHIRO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

産業財、営業戦略・管理・行動、顧客関係性などをキーワードに、マーケティング戦略を分析しています。なお直近では、消費者を含めた顧客との関係構築のあり方や、経営やマーケティングの活動に、イノベーションを呼び込むための要因の探索などを行っています。

【先生より】

専門演習(3・4回生)は単に出席して与えられた課題をこなせばよいのではなく、自分から主体的に勉強・研究するテーマを見つけ、自主的に文献を読んだり、考えたり、調査することが求められます。

何を自分の研究テーマにするのか、考えて自分から積極的に探索できる学生を、当ゼミは求めています。

【連絡先】

m-seimiya@biwako.shiga-u.ac.jp(電子メール)
0749-27-1363(研究室直通電話)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

① 輪読、②ケース討議、③ゼミ生自身の研究発表
3つを中心にゼミ活動を進めています。

「輪読」はテキストを1冊決めて、全員で分担して、内容の発表・質疑応答を行うものです。

「ケース討議」は特定の企業の事例を読み、ゼミ生がその企業の経営者・担当者になったつもりで、自分ならどのようなマーケティングを行うか、意見を出し合うものです(たとえば、東京ディズニーランドは、何を顧客に売っているか、競争相手は何かどこか、今後どのようにマーケティングを行うべきか、など)。

「ゼミ生自身の研究発表」では、卒業論文作成に向けた各自の研究テーマや、研究内容を発表してもらいます。

【活動時間】

水曜の3・4時限

【課外活動】

ゼミ生の自主企画によって、懇親会、ゼミ合宿などを行っています。またゼミ生には個人等で、学外の研究発表大会に参加し、入賞しているものもあります。(年度による)

【卒論テーマ】

経営学・マーケティングの知識をもとに、幅広いテーマで卒論は書かれていますが、過去の卒業論文には、以下の様なものがあります。

- ・サブスクリプションビジネスにおける若者の購買行動～SNSが利用動機に及ぼす影響～
- ・国ごとの消費者心理の差異 スーパーのPOP広告、商品陳列を中心に～台湾、日本、イギリス、香港～
- ・旅行とマズローの欲求階層説との関連性についての調査
- ・商品評価態度形成のジェンダー間比較
- ・旅行プランや宿泊施設における予約サイト選択要因

【ゼミ生より】

私たち清宮ゼミでは、輪読を中心にマーケティングの基礎を学習しています。各個人が資料を作成し、発表を行うのでプレゼン力を養うことができます。さらに清宮先生が知識を補足してくれるため、より知識が深まります。ケース討議では、唯一の正解はないため、十人十色様々な意見があり、新たな考え方や知識が身に付きます。

将来マーケターになりたい人、企業の経営戦略に興味がある人はぜひ清宮ゼミへ！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：10人(男6名、女4名)
専門演習Ⅲ・Ⅳ：12人(男7名、女5名)

【就職(進路)状況】

当ゼミは、滋賀大学経済学部の一般的な就職状況とほぼ同じですが、製造業(メーカー)を中心にマーケティング業務を志望するゼミ生が多いといえます。

過去5年のゼミ生の主な就職先には、日本電気、武田薬品工業、滋賀銀行、京都銀行、日興証券、GSユアサ、大成建設、JTB、ミツカン、国税庁などがあります。

【入るための目安(条件)】

入るための条件はありませんが、少なくとも何らかの経営学の科目を履修し、何をどのように研究したいのかを、示せるようにしてもらいたいと思います。

竹中 厚雄ゼミ TAKENAKA ATSUO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

日本の製造業の競争力について、特に研究開発活動に注目して研究を行っています。具体的には、エレクトロニクスや自動車関連の企業を主な研究対象として取り上げ、研究開発の国際化、オープン化などをキーワードとして調査・分析を進めています。研究の中長期的な目標は、こうした研究開発の戦略・マネジメントと競争力の関係について実証的に明らかにし、理論的フレームワークを構築することです。

【先生より】

経営学の理論と、現実の経営現象の往復を通じた思考力の訓練を重視しています。特に、学んだ理論や知識を現実の事象に適用し、自分で結論を導き出す力と、事象を抽象化し、本質的な内容を理解する力を身につけて欲しいと思います。

ゼミは一般的な講義とは進め方が全く異なります。教員(竹中)は若干の目標や課題、方法論(課題への取り組み方)などは提示しますが、ゼミの時間の大半は皆さんが中心となって発表や議論をすることで進みます。したがって、ゼミを充実したものにするためには、ゼミ生一人ひとりの自発的な姿勢と行動が必要不可欠です。皆さんが互いに刺激し合い、学び合うための場としてゼミを活用してください。

また、文章読解力はもちろんのこと、首尾一貫した論理的思考力、個別の知識を体系的にまとめあげる構想力、情報発信のための表現力などの知的スキルを磨く場としてもゼミは最適な空間だと考えています。

【連絡先】

a-takenaka@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

このゼミは、企業の経営戦略やマネジメントに関わる知識と理論的枠組みを習得し、企業経営について分析・理解する能力を身につけることを目的とします。具体的には、経営戦略論や組織論などの経営学の文献や論文の輪読を行うとともに、現実の業界や企業を事例研究の題材として取り上げ、グループに分かれて分析を行った上で発表と討論を行います。いずれも3〜5名程度のグループによるプレゼンテーションと、他のグループとの討論によってゼミは進められます。

3 回生の春学期はまず、経営戦略論の文献(例えば、

青島矢一・加藤俊彦著『競争戦略論(第2版)』(東洋経済新報社など)の輪読を中心にゼミを進めます。輪読は、ゼミ生が複数のグループに分かれた上で、発表担当グループが担当箇所の内容の要点についてレジュメやパワーポイントの資料を作成して報告し、それをもとに全員で疑問点や論点などについて議論することで進みます。このような輪読を通じて、文献の内容に関するより深い理解を全員で共有できることが期待でき、経営学の理論的な学習をより効果的に進めることができます。

春学期の後半からは事例研究を行う予定です。事例研究は、実際の企業の経営戦略や業界の構造的特徴の分析・解明を目的として行います。研究はまず、グループに分かれて研究対象を決定するところから始まり、問題設定、先行研究サーベイ、データ収集・分析、論文の執筆、プレゼンテーションというプロセスで進みます。研究の成果については、ゼミ生の希望に応じて日本学生経済ゼミナール大会(インナー大会・インター大会)などの学外の大会で発表することも考えています。

事例研究の対象として取り上げる業界や企業については、ゼミ生の皆さんが関心のあるものの中からグループ内で話し合って考えてもらいたいと思います。例えばこれまでのゼミ生は、旅行、映画、温泉旅館、プロ野球球団、エナジードリンク、家庭用テレビゲーム機、腕時計、SNS、ファッション通販サイトなど、様々な業界や企業を事例研究の題材として取り上げてきました。研究のテーマ(切り口)としては、例えば戦略的提携、事業システム、イノベーション、新製品開発、国際化、情報化など、経営戦略論のテーマを中心として様々な問題領域が考えられます。

ただし、このゼミでは、単に企業経営の実態に関する情報を収集したり、事業成功やヒット商品開発のエピソードについて論評したりすることは意図していません。まずは文献の輪読を通じて経営学の理論的枠組みをしっかりと身につけた上で、現実の企業経営についてより深く多面的に洞察できる力を身につけて欲しいと思います。

また、企業との産学連携の共同研究にも機会があれば取り組んでいきたいと思っています。今、実際に企業が抱えている様々な経営課題についてゼミ生が調査と分析を行い、具体的なプランの提案を企業に対して行います。ゼミではこれまで、百貨店、スポーツ用品関連企業、滋賀県下のサッカーチームなどとの研究プロジェクトを数年間にわたって実施しており、今年度の3 回生も伝統産業の会社および観光鉄道会社との共同研究が進行中です。

【活動時間】

例年、3回生のゼミは毎週水曜日の3限、4回生は4限に開講しています。ゼミの時間は原則として週1回90分です。いわゆる「サブゼミ」と呼ばれる時間をゼミの時間外に私が設定することはありませんが、発表や討論のための事前準備をゼミの時間外に個人またはグループで行う必要があります(ここには教員は基本的に関与しません)。毎週の事前準備や夏季休業期間中の研究にどれくらいの時間をかけているのかについては現役のゼミ生に尋ねてください。

【課外活動】

例えば就職活動の経験を共有する機会など、3回生と4回生のゼミ生が交流する時間をできるだけ作りたいと思います。

【卒論テーマ】

4回生のゼミは卒業論文の作成に向けた個人研究・発表が中心となります。研究テーマは、企業の経営行動や組織のマネジメントに関わることから、本人の関心に基づいて自由に設定してもらいます。

過去の卒論テーマ例:

- ・関西4大私鉄グループの多角化戦略
- ・白物家電業界における後発参入の研究
- ・高付加価値型PB市場の成長要因と消費者ニーズの変化
- ・ロックフェスのビジネスモデルとその成功要因
- ・出版流通の構造からみた伝統的取引慣行の課題
- ・アニメ産業の成長要因と収益構造の変化
- ・外食産業における宅配サービスの変容
- ・日本の高級ホテルチェーンにおけるブランド戦略
- ・日米独自自動車メーカーにおけるダイバーシティ&インクルージョンの国際比較
- ・近江商人「三方よし」は現代の企業に生きているか

【ゼミ生より】

竹中ゼミは例年滋賀大学のゼミとしては比較的女子比率の高いゼミで、男女比のバランスが取れています。また体育会に所属する人も多いので、部活もゼミも頑張りたい人におすすめです。そして竹中厚雄先生はすごく知識の豊富な先生です。経営学・競争戦略の知識はもちろん、時事的なことやスポーツ、歴史などどんなことにも詳しいため楽しくお喋りできること間違いありません！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:12人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:14人

【就職(進路)状況】

製造業(電機、機械、化学、繊維、医薬品、食品、化粧品、窯業・土石製品、印刷など)、金融(銀行、信金、証券、生保、損保など)、小売・流通、商社、広告、不動産、住宅、エネルギー、コンサルティング、情報サービス、公務員、海外大学院進学など。

ゼミ配属を控えた学生に「どのような業界に就職することが多いですか?」と尋ねられることがよくありますが、特に目立って特定の業界に多く就職しているということはありませんし、特定の業界への就職を教員が推奨することはありません(もちろん、アドバイスを求められた場合は助言します)。経済学部全体の就職状況と業種別の構成比は大差ないと思います。

【入るための目安(条件)】

当然のことながら、ゼミの無断遅刻、無断欠席は厳禁です。

何よりもまず、経営学に対する学問的関心と向学心を強く持ち、主体的に学ぶ意欲のある人に来てほしいと思います。また、グループワークやディスカッションを中心にゼミが進みますので、それらに積極的に取り組む姿勢が求められます。

第一次申込で申し込んだ人に対し、面接を実施します。面接の詳細については、応募期間中に学務課教務係の掲示板とSUCCESSの専門演習シラバス内で掲示しますので必ず確認してください。特にSUCCESSのシラバスにはここに書いていない情報も掲載するので必ず読んでください。

なお、ゼミの申し込みや受講の際、特定の授業科目について履修(済みであること)を教員が要求することは特にありません。また、2回生の間にゼミの受講に備えて事前学習や準備、資格・検定の取得などを教員が指示することも特にありません。自身の学習計画に沿って、大学が提供するカリキュラムをしっかりと履修し、知識を身につけてください。

陳 韻如ゼミ CHEN YUNJU

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

提携やネットワークと競争優位との関係を中心に研究しています。学問領域でいうと、組織間関係論と経営戦略論となります。最近、研究対象を IT 産業に焦点を当て、特許情報の分析という研究手法により、世界主要 IT 企業の戦略・優位性、提携ネットワークの全体像、ネットワークの変化などを明らかにすることに重点を置いています。

【先生より】

目指すところは、学生の主体性を重視し、学生に自らの状況や関心によって活動してもらい、学生の一人一人が自分を知ったうえで、さらに自らの可能性を再発見できる点にあります。学内外の活動を通じて、学生が経営学に関する現象や論理を探って、自ら考える姿勢や問題解決の方法を身に付けてもらえればと思います。これらの取り組みにより、ゼミ生が意欲的に合宿や学外の研究発表大会に参加し、これまで最優秀賞を受賞するなど、良い結果を残しました。ゼミ内だけでなく、先輩と後輩との関係も非常に良好で、仲間意識と学習意欲の高いゼミとして誇りを持っています。

【連絡先】

yun-chen@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】（やむを得ない変更あり）

・I ゼミ時の内容

春学期は、主に夏休みに開催される合宿の発表準備を行うことです。経営学合同ゼミ合宿（非公式）という名称で、毎年全国から約 10 校・150 名ぐらいのゼミ生が集まって発表を行い、互いに競争し合い切磋琢磨します。2021 年度に続き、2022 年度も Zoom での開催です。

研究発表に向け、学生は報告テーマの選定、調査・考察、報告資料の作成、プレゼンテーションなどの作業を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ディスカッション能力を短期間に身に付けることができます。これまで研究してきたテーマは、震災関連のビジネスプラン、グローバル、ソーシャル・イノベーション、ダイバーシティ、共生、ハコモノ、リモートワーク、アフター/ウィズコロナなどが挙げられます。ここ数年企業との共同研究に取り組んでいます。企業との共同研究が決まったのは 4 月になります。企業との共同研究を通じて、学生の実践力や提案能力も養うことができると考えられます。

秋学期の活動は、学外のプレゼンテーション大会への

参加（例えば、日本学生経済ゼミナール関西ブロック大会、日経 BP 主催の西日本インカレなど）、企業との共同研究の成果報告、就活指導、4 回生による就活座談会の開催などが挙げられます。

・II ゼミ時の内容

春学期のゼミでは、ゼミ内容の多様化を図り、卒業論文の執筆への準備を含め、学生にやり残したいことを自ら提案しゼミ内容を決めてもらいます（例えば、関心探索ワークショップ）。秋学期は、個人研究と卒業論文の執筆が主な活動です。学生は情報収集、調査、分析といった研究活動を通じて卒業論文をまとめます。最後のゼミでは卒論発表会を開催することで、2 年間のゼミ活動を締めくくります。

【活動時間】

- ・本ゼミは毎週水曜日 1 コマの開催です。
- ・サブゼミは研究の進捗具合により各自で開催することがあります。サブゼミの時間や回数などは基本的に各グループ内で調整してもらいますが、特に研究発表会が近づく 8 月—10 月に開催の回数が増える可能性が高いです。

【課外活動】

課外活動は基本的に学生に自主的に企画してもらう方針ですので、毎年課外活動の内容が異なります。以下はあくまでも一例です（コロナ前）。

- ・学習活動：実地調査、アンケート調査、学内合同ゼミ発表会など
- ・親睦活動：コンパや、I・II ゼミ合同運動会・親睦会、バーベキュー、台湾ゼミ研修旅行など

【卒論テーマ】（一部）

- ・モバイル市場の競争力研究
- ・日本部品メーカーの持続的な競争優位性
- ・次世代自動車の研究
- ・テーマパークの集客と顧客満足度の関係性
- ・グリーンツーリズムの日本での普及
- ・オンラインコンサート
- ・地域創生（アニメーション、地方銀行等）

【ゼミ生より】

現在、陳ゼミは嵯峨野観光鉄道・作業所(サリュ)・長浜ちりめんと共同研究チームに分かれて活動しています！研究は先生からの助言を頂きながら、学生主体で進めていきます。そのため、積極性が必要となる一方、自ら提案し実行する経験を積む環境が整っています。チーム一丸となり、目標に向かって努力したいという人はぜひ陳ゼミへ！！

【人数】

Iゼミ：男12人 女7人

IIゼミ：男11人 女7人

【就職（進路）状況】

保険(生命・損保)、銀行(メガバンク・地銀)、電力、鉄道、ゼネコン、IT(外資系も含む)、総合商社、人材コンサルティング、医療機器、製薬、化学、精密機器、自動車、住宅、広告、小売、旅行代理店、重工業、鉄鋼、食品、、独立行政法人、公務員等

【入るための目安（条件）】

- 1.やる気があり、ゼミのメンバーと仲良くなりたい方
 - 2.合宿や共同研究、調査活動に参加できる方
 - 3.発言、討論、グループワークに抵抗感のない方
- (※事前面談をすることをお勧めします。メールにて連絡をいただければ幸いです。)

内藤 雄志ゼミ

NAITO TAKESHI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

数理計画問題、協力ゲーム理論の配分解の性質などを研究課題としています。

【先生より】

教育方針としては質疑応答や討論を重視し、3年生は1セメスターに2・3回の発表を課します。4年生は、卒業論文の作成などを通じて、オリジナルの意見を論理的に記述する能力を身につけることを目標とします。卒業論文として指導可能な領域・分野は、経営科学の数理的手法、統計学などのデータ解析の手法、投資関係の数学、ゲーム理論、情報数学などです。

【連絡先】

naitoh@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習は、経営数学やオペレーションズ・リサーチなどのマネジメントサイエンスに関わる分野について文献や参考書を発表箇所ごとに振り分け、輪読形式で進めていきます。

専門演習Ⅰでは、マネジメントサイエンスやそれに関わる分野を学習します。特に数学を用いるテーマが多いのですが、高校までの数学知識が備わっていれば問題なく授業に参加できると思います。また、自分でレジュメを作ることによって発表する練習ができ、プレゼンテーション能力を鍛えることができますし、練習問題を通じてマネジメントサイエンスや表計算への理解を深めることもできます。

専門演習Ⅱでは、春学期に学んだ内容に比べ専門的な学習をします。ゼミ生各自が勉強したい分野を選び、輪読を行います。昨年度は需要予測、独立性の検定、主成分分析、期待効用基準、ナッシュ均衡といった数理に関する問題を扱いました。他のゼミ生の発表を聞いたり実際にゼミの時間で問題を解いたりして理解をしながら進めることができます。

専門演習Ⅲ・Ⅳでは、ゼミ生各自が研究テーマについての報告(発表)を行い、卒業論文を作成します。

【活動時間】

拘束時間が少ないので、バイトや部活、サークル、課外活動と並行して進めることができます。

【課外活動】

食事会など(コロナ以降自粛中)

【卒論テーマ】

『フリーライド現象の原因と対策』

『ゲーム理論を用いた買い占め行動の分析』

『十六銀行の支店統合に伴う施設配置問題』

『巡回セールスマン問題から考える聖地巡礼の最適な巡回回路』

『分散分析による賃金分析』

など。SULMS「優秀卒業論文」から閲覧できます。

【ゼミ生より】

私たち内藤ゼミでは、基礎的な数学や統計の知識を現実のモデルに当てはめ、経営の問題を数学的に解決する方法を学びます。

初歩的な内容から少しずつ学習して、「解決するための考え方」を身につけていきます。

授業では、あらかじめ先生から配布された資料の指定箇所をゼミ生に解説する時間や、それに関連した課題をゼミ生の前で回答、またその結果に至るまでのプロセスを共有する時間が設けられています。

視覚的に分かりやすいパワーポイントを作る能力や、他の人に伝わりやすい発表を行う能力なども自然と向上します。

- ・論理的に考えられる人が多い！
- ・議論の中で、知識の更新がしやすい！
- ・少人数のため、意見交換が活発！
- ・先生との距離が近いので、話しやすい！

【人数】

Ⅰゼミ:男0人 女0人

Ⅱゼミ:男4人 女0人

【就職(進路)状況】

金融業10人、製造業9人、情報通信業8人、公務員7人、院進学5人(卒業生64人の内代表的なもの)

【入るための目安(条件)】

事前に面談を受けてください。数理関係の授業(経営数学、オペレーションズ・リサーチ、統計学A・Bなど)を1科目は履修していることが望ましいです。高校の数学Ⅲは未履修でも問題ありません。

現実の世界の問題を数学的に分析することに興味がある人、毎回出席して他のメンバーとディスカッションをしたい人、などを歓迎します。

山下 悠ゼミ YAMASHITA YU

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

企業と大学生をつなぐインターンシップと、起業家をどのように生み出すのかについて研究しています。

【先生より】

「Student Innovation College (Sカレ)」という大学生が参加する商品企画のコンペに参加します。5 月頃に企業から提案される課題に合わせて商品企画に取り組み、秋学期に開催される 2 回の全国大会で企画をプレゼンし、優勝すれば商品化する権利を得ます。Sカレ終了後は、それぞれが興味を持つテーマについて卒業論文を作成してもらいます。

【連絡先】

研究室は研究棟 423 研究室です。面談はいつでも承りますが、事前にメールでご連絡していただくと非常に助かります。Zoom による面接も承ります。

yu-yamashita@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

Sカレを通して商品企画について実践を通じて学ぶことをゼミの目的としています。Sカレが始まる 5 月中旬までは、プレゼンテーション・スキルの向上を行いつつ、教科書である『1 からの商品企画』を輪読し、商品企画についての方法論を学習します。6 月以降は、新しい商品のコンセプトや価格、販売チャネル、販売促進活動などマーケティング戦略をチームごとに考えてもらいます。12 月中旬の冬カンで商品化する権利を勝ち取るのが目標です。

【活動時間】

月曜 3 限が 3 回生の、4 限が 4 回生のゼミの時間になりますが、4 限にもSカレの準備を進めることができるようになっています。また、秋カンが秋学期始まってすぐの開催ですので、夏休み期間中にも商品企画のプロセスを実践してもらいます。

【課外活動】

夏休み期間中にSカレに参加する他大学と共同ゼミを実施します。秋カン・冬カンのどちらかは東京圏の大学での開催されるため、ゼミ旅行がある予定です。

【卒論テーマ】

4 回生で卒業論文に向けての研究を行うこととなりますが、テーマの制限は何もありません。

【ゼミ生より】

山下ゼミは、商品企画のプロセスを学び実践するゼミです。企業から与えられたテーマにしたがって商品企画を行います。優勝すれば、実際に商品化する権利を勝ち取ることができます。

ゼミでは、教科書の輪読を通じて商品企画の方法を学びながら、魅力的なスライドの作り方やプレゼンの技法、グループワークの進め方を実践的に学ぶことができます。プレゼンを行えば、他のゼミ生や先生からのフィードバックをもらうことができるので、自分のスキルアップを感じることができます。

山下ゼミはとても活動的で、何も分からない状態から商品企画を行うのは非常に大変ですが、先生が持ってきてくれたお菓子を食べながら、ワイワイガヤガヤ活動しています。活動時間をどのように使うかは自由であるため、チームごとに計画して進めていく必要があります。

商品企画に興味がある人、クリエイティブになりたい人、課題解決のスキルを身につけたい人、仲間と協力して何かを成し遂げたい人にはオススメです。個性豊かなメンバーが揃っていて、優勝するためにメンバー全員の強みを活かしていく必要があります。いろいろな人と活動できるのは難しいところでもあり、面白いところでもあると思います。

最後に、私たちが作った山下ゼミのキャッチコピーを紹介します。「0 to 1～未来を動かす歯車を創る～」 「あなたの妄想がレジ横に」 「実践的な商品企画を仲間と一緒に創り出す」 3つのキャッチコピーが心に刺さった人、0から1を作り出す新たなチャレンジの旅を始めませんか？

【人数】

I ゼミ(3 回生): 男 5 女 6

II ゼミ(4 回生): 男 10 女 6

【就職(進路)状況】

システムエンジニア系 14 名、製造業 12 名、金融業 9 名、公務員 7 名、卸・小売業 5 名など

【入るための目安(条件)】

起業を考えている学生や、商品企画について実践を通して学びたい学生が主な対象になります。

週末の 54 時間で仲間づくりをしながらビジネスを立ち上げる起業体験イベント「Startup Weekend」に参加した経験があるか、もしくは専門演習が始まるまでに参加することを確約できることを、応募の必須条件にしています。

会計情報学科

可児島 達夫ゼミ KANISHIMA TATSUO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

- ・研究分野:会計利益計算構造の深化に関する研究
- ・概要:米国、英国および国際会計基準審議会(IASB)を中心として、資産負債アプローチにもとづいた収益認識や業績報告の変革について、主として財務会計概念フレームワークと関連づけながら研究しています。また、地方公営企業の成果概念についても研究しています。

【先生より】

所属学科を問わず「会計学」に興味があり、会計を将来の進路で生かしたいと思う学生を求めています。

会計学の理論を探究するとともに、可能な限り実践的に学びながら、新たな課題を発見し、ともに考えていきたいです。好奇心にあふれ、問題意識を持って積極的に取り組む学生を求めています。

ゼミはゼミ生同士で作りに出していくものです。やる気のある元気で活発な学生を待っています！

【連絡先】

kanisima@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

会計学の独特な基本思考を軸にしながら、それをさまざまな角度から学ぶことで会計学の理解を深めていくことをねらいとしています。「世界の中の日本の会計の特徴」を浮き彫りにしたいと思っています。

春は、まずは、財務会計の基本テキスト(伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社)を使って、基礎・中級レベルの内容を中心に個人プレゼンと質疑応答による3・4時限の「2倍ゼミ」とほぼ毎週の復習課題の反復で、短期集中型で基礎固めを行います。ここで粘り強く基礎を着実に習得できるかが、以降のゼミでのパフォーマンスや能力向上に大きく左右します。その他、基本的な財務諸表分析方法を学んだ後に、グループワークで実践、プレゼンし、もし実施可能であれば夏季休暇中のゼミ合宿等でビジネスゲームなど実践的な学習も行う予定です。

秋は、財務会計の現代的トピックスに絡んだ応用テーマを設定し、グループ研究に取り組みます。参考までに、昨年度は、国際会計基準(IFRS)、グローバル企業の為替戦略、不正会計、中小企業会計および会計ディスクロージャーに関する諸問題、さらに会計学の温故知新について研究しました。春同様、プレゼンスキルも磨きます。

そのほか、例年であれば、春は、ゼミ卒業生講演(今年

度は、公認会計士(現在はトーマツ税理士法人)、メットライフ生命保険)、秋は、滋賀銀行や日本経営ウィル税理士法人による就活ガイダンス、夏季休暇中はゼミ合宿、IIゼミ生による就活・進路支援企画、「会計学論集」(卒論集、ゼミ活動記録、ゼミ名簿)の製作、卒論報告会など、諸々企画もあります。(※なお、これらのうち一部は、コロナ感染状況により実施できない可能性もあります。)

【活動時間】

春学期は、例年、毎週金曜3・4時限の2コマ、秋学期は、時間割通り、毎週金曜3時限の1コマです。

【課外活動】

懇親会(例年では3、4回ほど)、レクリエーション(ボウリングなど)、ゼミ合宿(9月、「グリーンパーク山梨」)、ゼミ旅行など。

(※なお、これらの課外活動は一昨年以降、コロナ禍で実施できていません。来年度も未定です。)

【卒論テーマ】

- 2021年度卒業生の卒論テーマは以下のとおりです。
- 「IFRS 第16号「リース」と日本のリース会計基準の会計処理の比較と日本基準の今後の考察」
 - 「新会計基準適用によるリース業界への具体的影響」
 - 「IFRS導入の意義と問題点」
 - 「包括利益とリサイクリングに関する研究」
 - 「新型コロナウイルス蔓延前後の不正会計研究」
 - 「自動車業界の利益調整と方法についての分析」
 - 「日本のインターネット広告市場の課題と展望」
 - 「医薬品業界の収益性分析」
 - 「コンビニ業界の普及要因と収益性分析」
 - 「エレクトロニクス業界における電子部品業界の競争優位性に関する研究」
 - 「非鉄金属業界3社の比較分析とサステナビリティ」
 - 「自動車業界3社の財務業績に関する比較分析」
 - 「資産運用業界の展望」

【ゼミ生より】

可児島ゼミでは、財務会計の理論を中心に学習をします。毎年 20 人程度入る大人数のゼミなので、一緒に学ぶ仲間が多いのが特徴です。ゼミ生の中には会計学を学び始めの人もおり、そのような人も含めてゼミ生同士で切磋琢磨して学問に励むことができます。先生は温厚な性格のため、楽しく過ごすことができるのも特徴の一つです。

会計学に興味のある方はぜひ可児島ゼミを検討してみてください！

【人数】

I ゼミ:20(男 10、女 10)

II ゼミ:19(男 13、女 6)

【就職(進路)状況】

(1)民間企業(直近 5 年間)

- ・金融:三井住友信託銀行、滋賀銀行、十六銀行、大垣共立銀行、関西アーバン銀行、京都中央信用金庫、日本政策金融公庫、野村アセットマネジメント、大和アセットマネジメント、東海東京証券、岡三証券、三井住友海上火災保険、芙蓉総合リース、東京センチュリー、オリエントコーポレーション、トヨタファイナンス、日産フィナンシャルサービスなど。
- ・製造、サービスほか:神戸製鋼所、島津製作所、GS ユアサ、三菱マテリアル、シャープ、豊田合成、日本電気硝子、五洋建設、トクヤマ、オプテックス、タマホーム、富士通、オービック、日本デジタル研究所、JSOL、ディップ、エン・ジャパン、日本経営ウィル税理士法人など。

(2)公認会計士・税理士・公務員・大学院進学(ゼミ通算 20 年間)

- ・公認会計士 13 名:監査法人(新日本、あずさ、トーマツ、太陽 ASG、仰星、ひびき)、トーマツ税理士法人、スズキなど。
- ・税理士 7 名:税理士法人、会計事務所など。
- ・公務員 39 名:会計検査院、国税局(東京、大阪、名古屋、金沢)、財務省東海財務局、経産省中部経済産業局、経済産業省、厚生労働省、防衛省、名古屋税関、国立病院機構、宇宙航空研究開発機構、府県庁(大阪、滋賀、愛知、岐阜など)、市役所(京都、名古屋、彦根など)、大阪大学、高校(商業科)教諭など。
- ・進学 9 名:滋賀大学大学院、神戸大学大学院など

【入るための目安(条件)】

- ・簿記会計単位取得済み(日商 3 級習得済み)
- ・できれば、会計学基礎、財務会計総論 I・II、社会と会計のいずれか履修経験あり
- ・会計学に興味がある人

野田 昭宏ゼミ NODAAKIHIRO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野の概要】

会計情報の測定・報告に関して観察される面白い現象の背景にあるメカニズムを説明するモデル分析(分析的会計研究)に携わっています。現在、3つのテーマに取り組んでいます。

- (1) 不均質な選好をもつ投資者層から構成される証券市場で、企業はどのような会計報告戦略をとるだろう;
- (2) 報告利益の質が低い会社が開示する非財務情報の質が高いのはなぜだろう;
- (3) 企業のガバナンス構造は、経営者の利益マネジメントにどのような影響を与えるだろう。

II.ゼミのプロフィール

【先生より】

私たちの研究室は、会計情報にかかわる現象の背後にあるメカニズムを理解することに焦点を当てています。現実に観察される会計制度や実務は、

- ・どのような条件下で生じたのだろうか?
- ・組織や社会にどのような影響を与えているか?
- ・条件が変化するとどのように変化するだろう?

という問いを出発点にしています。

会計現象の背景にある基礎的なメカニズムを理解することは、会計学習者の短期目標(資格を取得したい/会計知識を生かして就職活動を有利にしたい等)に必ずしも直結しているとはいえません。しかし、長期的な視点から見ると、卒業後の長いキャリアのなかで容易には陳腐化しない会計現象に対する本質的な見方を培うことができるといふ価値をもちます。

この点で、私たちの研究室は、資格取得や就職目的にもとづいた会計学習ではなく、卒業研究を通じて会計現象の本質的な問題に取り組んでみたいというひとに向いています。

【ゼミの内容】

ゼミでは会計現象に関して仮説を設定し、それを検証するタイプの研究をします。3回生春学期(演習Ⅰ)は、卒業研究に着手する準備として、会計学研究に関連したリサーチデザインを学びます。会計に関わる経済現象をめぐって提示されている仮説と、それらを検証するために用いられた手法、明らかにされてきた知見を学習することを目的とします。

各セッションでは、事前課題として、ゼミ生に文献資料とディスカッション・ポイント、データ分析実習の課題が提示されます。文献資料を学習したうえで、セッションで、ディスカッション・ポイントを中心に検討します。

3回生秋学期(演習Ⅱ)は、関心のあるテーマ別に研究チームにわかれてそれぞれ卒業研究の準備を始めます。各

研究チームの4回生リーダーのサポートを受けながら、研究テーマに関連する文献サーベイを行い、リサーチデザインを設計します。年度末には、取り組む研究課題を決めて、その調査手法や研究の着眼点等を明確にした研究計画書を作成します。

4回生の春学期から夏季休業にかけては、上記の研究計画書にもとづいて、データ収集とその予備的考察、関連文献の追加的なレビューを実施します。夏季休業終了時には、3回生・4回生合同ゼミで、中間報告会を開催します。秋学期には、データ分析と卒業論文の執筆・完成を目指します。また、自分の研究チームに新しく加わった3回生の研究をサポートします。秋学期終了時には、卒論発表会で最終報告をするとともに、卒業論文集を作成します。

【活動時間と課外活動】

3回生:金曜 3限

4回生:金曜 4限

【課外活動】

(希望があれば)統計的手法に関するサブゼミを開催します。配属時点で統計関連科目が未履修である/基本的知識に不安があるひとに対してサポートをします。

【卒論テーマ】

- ・会計利益と課税所得の差異は価値関連性をもつか。
- ・四半期報告書開示に対して市場はどのように反応するだろうか。
- ・国際財務報告基準を適用する企業と日本基準を適用している企業の間で会計情報の価値関連性に差異はあるだろうか。
- ・企業の租税回避行動に対して企業ガバナンス構造は影響を与えているだろうか。

【人数】

3回生:2名(男子1名・女子1名)

4回生:1名(女子1名)

【就職(進路)状況】

主な就職先:公認会計士試験合格(4回生現役)→太陽有限責任監査法人、東海銀行、北陸銀行、明治安田生命、税理士事務所

宮西 賢次ゼミ MIYANISHI KENJI

I.ゼミの先生のプロフィール

【現在の研究課題】

ESG 情報の効果測定、不正会計検出モデルの研究

【研究活動】

フルブライトプログラムで留学した米国ケロッグビジネススクール博士課程での経験を活かし、実証的・分析的会計研究に取り組んでいます。PwC あらた監査法人とデータサイエンスの共同研究にも取り組んでいます。

【教育方針】

生涯の財産となるファンダメンタルを鍛える！

II.ゼミのプロフィール

【先生より】

ゼミでは、分析的会計学(財務諸表分析&企業価値評価)を徹底して学びます。実践での問題解決を重視し、アメリカのビジネススクールでのトレーニングを取り入れて、ファイナンスや統計を応用した分析を行います。将来国際的なフィールドで活躍するために必要な、会計とファイナンスの専門性、分析力、討論力、チームでの問題解決力、仕事で使える英語力などのファンダメンタルを鍛えます。ファイナンスと会計分野のデータサイエンスの分析手法もマスターします。

【ゼミの内容】

研究テーマ:

「財務諸表分析に基づく企業価値評価」

1. 財務経理の専門性

「企業分析入門」と「コーポレート・ファイナンス戦略と応用」をテキストとして、プレゼンテーションとディスカッションで鍛える。

2. 英語力

TOEFL や専門の英語力を鍛え、海外経験を積む。

3. データサイエンス&分析力

多変量解析、機械学習、AI 手法について集中的に学ぶ。

【課外活動】

ゼミ生が企画を行い、例年いくつかの課外活動を実施しています。

- ① 「ファイナンスの勉強(夏の耐久ゼミ)」や「ハーバードビジネスレビューを読む英語文献のサブゼミ」
- ② 「ゼミキャンプ(夏)」や「新ゼミ生歓迎会」
- ③ データサイエンス集中セミナーで財務データの分析力を鍛えています。

④ 「OB 会」、「卒業祝賀会」

⑤ 「OB による就職セミナー」

【ゼミ生より】

宮ゼミの魅力&特徴

- ・実践に応用できる財務経理の専門性を鍛えられる
- ・TOEFL や経済英語の力を伸ばす
- ・R や Python によるデータサイエンス手法に精通
- ・徹底討論、問題解決志向の本質追求ゼミ
- ・チームパワーを爆発させる
- ・『The Family』先輩後輩を超えた仲間達
- ・五大陸制覇！世界に進撃する OB 達
- ・最強グローバルゼミ！海外滞在経験者多数

宮ゼミニュース！

今年度の海外留学&海外インターンシップ

アメリカ・ニューヨーク、カナダ

マルタ、インド、インドネシア

マレーシア、カンボジア、ベトナム

アフリカ諸国 etc.

シンガポールで起業

【人数】

I ゼミ: 男 15 人 女 6 人

II ゼミ: 男 16 人 女 4 人

【入るための条件】

ゼミナール大会のゼミブースで説明を聞くこと。

【ゼミを一言で表すと】

We are No.1

宮西 賢次ゼミ MIYANISHI KENJI

【3つのアピールポイント】

1. 最強の教授やOB、そして仲間との出会い
2. グローバルな問題意識
3. Innovation Mind!!

【過去の就職(進路)状況】

2022 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

Societe General

伊藤忠商事、住友商事、丸紅、豊田通商
電通、みずほ証券(投資銀行部門)、日揮(2名)
千代田化工(3名)、日本 M&A センター
ストライク、サントリー(2名)、三菱ケミカル
東急不動産、AGC、SONY(2名)、東レ
住友化学、三井化学、川崎汽船、三菱重工(2名)
本田技研工業(3名)、中部電力、花王
デンソー(2名)、住友電工、小松製作所(3名)
クボタ、日立製作所(2名)、ソフトバンク
オービック、村田製作所(2名)

2021 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

Amazon、JAXA(宇宙航空研究開発機構)
ネスレジャパン、ユニリーバ
ヒューレット・パカード、丸紅、トヨタ自動車
日本経済新聞社、SONY(3名)、
本田技研工業(2名) 三菱重工、NTTドコモ
NTT データ、デンソー(2名)、大成建設
清水建設、キャノン、住友電工(2名)、三菱電機

2020 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

Amazon、JAXA(宇宙航空研究開発機構)
三菱商事、伊藤忠商事、丸紅(2名)、双日
日本郵船、NHK(日本放送協会)
トヨタ自動車(2名)、日本 M&A センター、任天堂本田
技研工業、日清製粉グループ本社、花王(2名)
三菱重工、キーエンス、旭化成、NTTドコモ
JOGMEC(石油天然ガス機構)、三菱ガス化学
小松製作所、サイバーエージェント
住友電工(2名)、日立製作所(3名)
パナソニック(4名)、三菱電機(3名)、クボタ
ヤマハ発動機、TOTO

2019 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

三井物産、丸紅(3名)、住友商事
豊田通商(2名)、商船三井
INPEX(国際石油開発帝石)、資生堂、AGC
日揮(2名)、本田技研工業(3名)、NTTドコモ
NTT データ(2名)、花王、三菱ケミカル
住友化学、SONY、キャノン、住友電工(3名)
日立製作所、パナソニック(3名)、三菱電機
デサント、コーセー、東京エレクトロン

2018 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

ゴールドマン・サックス証券、デロイト
三菱商事(2名)、伊藤忠商事、住友商事
商船三井、日揮、千代田化工建設(2名)
サントリー、日産自動車、本田技研工業
清水建設、パナソニック(3名)、日立製作所
住友電工(2名)、三菱電機、小松製作所
ミツカン

2017 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

デロイト、アクセンチュア
伊藤忠商事、住友商事(3名)、双日(2名)
JICA(国際協力機構)、日本経済新聞社
NRI(野村総合研究所)、日産自動車
アシックス、サントリー、NTTドコモ
千代田化工建設、NTT データ、住友電工(4名)
日立製作所、パナソニック(3名)
富士ゼロックス、神戸製鋼、日清食品、クボタ
東京エレクトロン、エスデー化学

2016 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

ゴールドマン・サックス証券、Ernst & Young
三菱商事(2名)、三井物産、伊藤忠商事
住友商事、双日、AGC(旭硝子)
NRI(野村総合研究所)、日本経済新聞社
NHK(日本放送協会)、デンソー
住友電気工業(2名)、関西電力、太平洋セメント
日立製作所、ブリヂストン、日清食品
アシックス、コニカ・ミノルタ、ヤマハ発動機
野村證券

宮西 賢次ゼミ MIYANISHI KENJI

2015 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

ゴールドマン・サックス証券(投資銀行部門)
伊藤忠商事、住友商事、国際石油開発帝石、日揮
本田技研工業(2名)、住友電気(3名)
日立製作所、ブリヂストン、日清食品
アシックス、コニカ・ミノルタ、ヤマハ発動機
野村證券

2014 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

伊藤忠商事、住友商事、サントリー、日本郵船
商船三井、住友電気、デンソー、パナソニック
クボタ、コニカ・ミノルタ、千代田化工建設
関西電力、本田技研工業、東京海上日動

2013 年度Ⅱゼミ生の主な就職先

三井不動産、伊藤忠商事、双日、東芝
本田技研工業、住友電気、三井化学、日清食品
ヤマハ発動機、三菱東京UFJ銀行、みずほFG
日本電気硝子、JG Summit

2012 年度Ⅱゼミ生の主な就職先

伊藤忠商事、丸紅、住友電気、アイシン精機
デンソー、東芝、NTT データ

2011 年度Ⅱゼミ生の主な就職先

電通、味の素、本田技研工業、住友電気
日立製作所、東京海上日動、豊田紡織、クボタ
住友重機械工業、DIC、など

社会システム学科

坂野 鉄也ゼミ BANNO TETSUYA

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

大きな括りで言えば、非ヨーロッパ世界におけるヨーロッパ近代の受容研究になります。具体的なフィールドはメキシコ、パラグアイと日本で、テーマはヒトの移動、高等(実業)教育、植民地社会論です。

【先生より】

自分で考え、考えたことをアウトプットすることができるようになる、という学士としての最低限の力をつけることがゼミでの課題です。卒論のテーマは個々の関心に沿って決めてもらっていて、特に共通のテーマを設定していません。

【連絡先】

t-banno@biwako.shiga-u.ac.jp

[Discord Server]

<https://discord.gg/RXEBu2R>

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

2年間のスケジュールです。

〈3 回生〉

[春学期前]ゼミ遠足

[春学期]ヨーロッパ近代を知るというテーマで輪読をおこないます。

[夏期休業]ゼミ旅行

[秋学期]卒論テーマの設定を目的に各自で、論文紹介をおこないます。

年度終了までに卒論テーマを決定してもらいます。

〈4 回生〉

[春学期]卒論テーマに関わる文献探索を各自でおこなう卒論テーマを絞り込み、論文の書き方を学びます。

[秋学期]卒論の進捗報告をおこないます。

【活動時間】

開講曜日・時限:月曜日 3 限(3 回生)、4 限(4 回生)

【課外活動】

【ゼミの内容】に記載のとおり、遠足と旅行を実施しています。目的地はゼミ生プレゼンで決めています。理由はわかりませんが、ゼミ旅行は「瀬戸内の島」(周防大島、淡路島、大久野島)になっています。特に縛りがあるわけではありません。

【卒論テーマ】

歴史的研究が多い傾向にありますが、現代の諸問題を扱うものもあります。対象地域は日本、メキシコ、アフリカなど様々で、テーマも教育制度、多文化主義、労働問題、ジェンダー格差問題などいろいろあります。

【ゼミ生より】

このゼミの一番の特徴は「少人数」であることです。現在のゼミ生は、この文章を書いているIIゼミの男子1名のみです。私がこのゼミを選んだ理由は【先生より】に記載の、卒論テーマを個々の関心に沿って決めることができる点です。他のゼミは先生方の研究テーマに沿った演習を行うことが多いですが、私は学びたいことを自分のペースで学びたい人間なので、このゼミに決めました。3年次は、自分の興味のある分野を先生とともに学びます。今期は1対1という他のゼミにはない特徴を活かし、オンラインで演習を進めることもできました。先生が臨機応変に学生の事情に対応してくださるので、ゼミ活動を無理なく進めることができました。4年次の今、3年次の演習を活かし、卒論に向けての質の高い研究を行っています。「自分の興味のある分野で研究したい、卒論を書いてみたい」という学生の方に、このゼミをお勧めしたいと思います。

【人数】

Iゼミ:男 - 女 -(開講なし)

IIゼミ:男1 女 -

【就職(進路)状況】

金融業、製造業、公務、情報産業で近年は情報系が増えています。

【入るための目安(条件)】

特にありませんが、じっくり考えることが苦手でないことは必要かもしれません。

竹村 幸祐ゼミ TAKEMURA KOSUKE

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

専門は社会心理学です。主に、人間が作る「集団」に関心があります。集団の中で、人間は互いに協力し合い、また、互いに拘束し合います。影響が連鎖する中で、個々人とはまるで違った動きを見せることもあります。そうした集団過程に関心があり、各種のデータを収集・分析しています。主な研究手法は実験・アンケート調査・公開データの分析です。

【先生より】

「考える」ことを大事にする人を歓迎します。考えるのをやめると楽ですが、退屈だと思います。考えて考えて、そして閃いた瞬間の喜びは、他に代え難い。

「話す」ことを大事にする人を歓迎します。社会心理学の分野では、共同研究が当たり前です。私自身の場合も、ほとんどが国内・国外の研究者との共同研究です。自分と違う考えを持つ誰かと一緒に考える方が刺激的です。ゼミのメンバーにも、自分の頭を使いつつ、誰かと一緒に考えることの面白さを知ってもらえればと思っています。

【連絡先】

kosuke-takemura@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

社会心理学関連の卒業論文研究を進めています。ゼミで最初に取り組むのは「先行研究を知る」ことです。社会心理学の文献(英語含む)を読みます。その後、「自分の研究をする」ことにシフトします。ここでは、未知の新事実(少しでも)迫ることを目指します。原則、統計解析を使った実証研究に限定します。

【活動時間】

時間割通り

【課外活動】

特に予定なし

【卒論テーマ】

卒論題目(2018～2021年度の一部)

- マスクの着用が印象に与える影響:
マルチレベル構造方程式モデリングによる検討
- 責任の大小が認知的不協和に与える影響
- 集団主義傾向と誹謗中傷の相関関係について

- ロコミが商品選択時の満足度に与える影響:
ロコミを見れば見るほど満足できなくなる?
 - Can we become friend with our enemies through understanding of them? With socio-ecological approach
 - 人はなぜ同性愛に関心を持つのか: 自己肯定感および親の結婚生活についての認知との関係
- 参考: <https://bit.ly/3yvEGYQ>

【ゼミ生より】

このゼミの魅力は、【先生より】のコメントにもあるように、常に「なぜ？」を繰り返すことで論理的思考力が鍛えられるところにあると感じています。この力は、きっと普段の生活や社会に出てからも活かせると思います。また、毎回のゼミでは必ずと言っていいほど「なるほど」と感嘆するような学びを得ることができます。そこで1つ賢くなったような満足感や達成感を味わえることも、このゼミの魅力の1つだと思います。

ゼミの雰囲気としては時々笑いが生まれるような、厳格すぎず、かつ緩すぎない雰囲気で、研究をするには丁度良い環境だと思います。ゼミの雰囲気同様、竹村先生は、分からないことや相談したいことがあれば気軽に聞けるような、親しみやすく頼もしい先生です。また、難しい議題や新しい用語も非常に分かりやすく解説してくださります。

★自信を持っておすすめできるゼミです!★

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ: 10人

専門演習Ⅲ・Ⅳ: 9人

【就職(進路)状況】

丸紅株式会社, 中野区役所, 滋賀銀行, 京セラコミュニケーションシステム, キーエンス, 茨城県信用組合, 預金保険機構, 富士ゼロックス, 日立製作所, 神戸製鋼所, JR 西日本, 丸真, CONTEC, LIFULL, 日本製粉, 高知労働局, 兵庫県三木市役所, 水資源機構, 丸全昭和運輸, 青山財産ネットワークス, など

【入るための目安(条件)】

- ✓ 自分の頭で考える(or 考えたい)人を歓迎
- ✓ 竹村に反論してくれる人を歓迎
- ✓ 英語を読むことに抵抗がないことが望ましい
- ✓ 統計分析に抵抗がないことが望ましい

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

認知心理学。記憶とくに記憶の誤りとメタ記憶。
最近は少し違うことにも興味があり、「少なからぬ」のような数量表現の解釈や、COVID-19 に対する意識などを調べて論文を書きました。

【先生より】

心理学というテーマを通して、ものごとを多方向から、できるだけ客観的に、批判的に眺める力を身につけてほしいと願っています。

【連絡先】

tanigami@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

実験または調査を行い、卒業論文を作成するためのゼミです。①関心のあるテーマを見つけ、仮説を立てることができる、②仮説を検証するのに適した方法を見つけ、実行することができる、③データから妥当な考察を行うことができる、④自分の考えを適切に人に伝達することができる、などの力をつけることを大きな目的としています。そして、それらを可能にするような地道なトレーニングに日々励んでいます。

【活動時間】

今年度は金曜の3限(3年生)、4限(4年生)です。

【課外活動】

決まっていることはありません。学生さん次第ですが、可能な範囲で協力はします。

【卒論テーマ】

個人の興味・関心によりさまざまです。私にできるのは、学生さんが見つけたテーマを形にしてゆく過程に沿ってアドバイスすることだけです。心理学の本や論文を読むことを苦と感じない程度には心理学に興味を持っていることが大切です。

【ゼミ生より】

谷上ゼミでは、世間的によく知られている通説から学術的な問いまで、心理学という分野に関わる事柄であれば、自由に取り組むことができます。

また、先生は優しく温厚な方で、その上でゼミ生の関心事に対するアドバイスが的確であり、ゼミ研究合宿など企画をすればサポートもしてくださるので、ゼミの雰囲気がとても良いです。

部活動やサークル活動との両立も可能で、楽しく学ぶことが出来る環境があるので、谷上ゼミを選択して良かったと感じています。

【人数】

I ゼミ: 男 7 女 2

II ゼミ: 男 6 女 8

【就職(進路)状況】

公務員、金融、製造、IT 関係、サービス、広告、塾など、いろいろです。

とくに就職に有利になるようなことはしていないので、ゼミとしてアピールできるようなことはありません。

が、みなさんそれぞれ個性にあった就職先を選んでいるように見えます。

【入るための目安(条件)】

地道で孤独な作業が苦ではない人、ああでもないこうでもないと考えることが好きな人が向いていると思います。

全体に課す宿題など多いほうではないので、楽そうに見えるかもしれませんが、卒業研究のために吸い取られる時間と労力は、むしろ他のゼミより多めかもしれません。(「他のゼミでは卒論は1週間あれば書けるらしいのに…」というぼやきを聞いたことがあります。真偽不明、というかまあ信じられませんが…)

ゼミが楽かどうかは、3年生ではなく、卒論提出の終わった人に聞くほうが確実です。

また、指導できる人数に限りがあるので、希望してくださった方が多い場合はお断りせざるを得ないこともあります。

富田 健一ゼミ KENICHI TOMITA

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

通信における誤りの制御に関する研究をしています。データの送受信に使用される通信路には様々な要因の雑音が入り込み、誤りを発生させます。そのような誤りが起こったとしても、元のデータを正しく伝達できるようにする仕組みが誤り訂正符号と呼ばれるものです。私は誤り訂正符号の性能を理論的に評価する方法や、規模の大きな符号の重み分布等の特性を調べる研究をしています。ゼミは研究とは関係なく、論理的な思考力を養うための学びの場という位置づけです。

【先生より】

滋賀大学経済学部には情報管理学科という情報科学分野を広く学べる学科がありました。DS 学部設立に伴う学科再編によって情報管理学科はなくなりましたが、いわゆる文系学部であってもプログラミングをはじめとする論理的思考を養う演習は重要であると考えていますし、またそのようなことに興味を持つ人が必ずいると思っています。私のゼミでは「じっくり考える力」と、考えた内容を「きちんと伝える力」を伸ばすことを目的としています。多くの学生は例えば一つの問題を一週間悩んで考えるという経験をほとんどしていません。また、自分の考えを口頭あるいは文章でわかりやすく伝えるために必要な論理的な構成力も不足しています。これらの能力は、どのような分野に進むにしても必要になるものです。在学中には是非これらの能力を伸ばすための努力をして欲しいと思っています。

【連絡先】

ktomita@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室 519

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

プログラミングを学ぶことは「じっくり考える力」とコンピュータに対して「きちんと伝える力」を伸ばすこととなります。ゼミでは、プログラミングに必要なアルゴリズムとデータ構造などを学び、実際にたくさんのプログラムを組むということを通して、「考える」→「思いつく」→「試してみる」→「失敗する」というサイクルを何度も体験し、それらの後に「うまく動いた!」という喜びを実感してもらえればと思っています。また、少し規模の大きいプログラムをグループで作成する演習では、お互いの考えをきちんと伝え合うことが必要となり、円滑な共同作業を行う力を養います。ゼミの時間は

必ず全員が発言の機会を持ち、活発な議論(と笑い)のある充実した場を目指します。

【活動時間】

水曜日 3 限(3回生)・4限(4回生)

【課外活動】

2019 年度までは年度によりますが親睦会やゼミ旅行が行われています。その年度のノリによります。

【卒論テーマ】

テーマは自由としていますので多様です。多様すぎて統一感はありませんが、それが多様です。「地方行政がインターネットマーケティングを用いて観光客を増やす方法」、「世界の環境とそれによる各国の資源対策の比較」、「プログラミング教育におけるスクリプト言語の可能性」、「ゆるキャラと自治体」、等々。

【ゼミ生より】

私たちは、プログラミングや論理クイズを通して論理的思考力を鍛えています。プログラミング未経験でも入門から学ぶことができます。ゼミ生同士わからないところを教え合い、トライアンドエラーを繰り返しながら楽しく活動しています。授業ごとに異なるグループを組むのでゼミ生全員と仲良くなることができます。先生はユーモアある温厚な方で、ゼミの雰囲気は和やかです。考えることが好きな人や鍛えたい人におすすめです。

【人数】

専門演習 I・II: 男 6 人 女 6 人
専門演習 III・IV: 男 10 人 女 5 人

【就職(進路)状況】

ぐるなび、三菱東京 UFJ 銀行、滋賀銀行、京都銀行、日本システムディベロップメント、オービック、滋賀県警、神戸税関、浜学園、等多様。

【入るための目安(条件)】

コンピュータに強いということはありません。考えることが好きな人、論理学や情報科学 I が面白いと思えた人は大歓迎です。ただしキチンと出席できる人に限ります。不明な点は遠慮なく質問してください。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

専門は比較社会学です。シンガポール社会について研究することが、広く現代社会一般について研究を進めることに通ずる意義があると考え、シンガポールでの現地調査をもとに社会学研究を行っています。単著『シンガポール「多人種主義」の社会学——団地社会のエスニシティ』（世界思想社、2011年）をまとめた後、現在も「シンガポール団地におけるイスラム系住民と非イスラム系住民の共生に関する社会学研究」に取り組んでいます。

1998年から4年間シンガポールで調査研究を行ったことが、研究の原点になっています。2002年の本学就職後も、現地調査を年に1~2回行っています。

シンガポールについては、政府側の視点に立つ研究がほとんどを占める中、私は敢えて現地の団地住民側の視点にも立った研究を進めています。そこで重要なのは、とにかく現地の人々の中に溶け込んでいくことです。現地の言語や文化に精通することが重要で、学生時代の経験が今でも役に立っています。

【先生より】

アジアをはじめとする国際社会で勝負できる人、地域社会に貢献できる人を一人でも多く輩出することを、教育目標にしています。

【連絡先】

nabekura@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミの分野＝社会学、国際社会学

誰もが日々社会生活を営んでいます、その社会について改めて問い直して学ぶのが社会学です。社会学について学ぶ第一歩として、自分の生きる社会で当たり前だとされていることを問い直す必要があります。

そのためには、①社会学について勉強することで問い直す方法を学ぶほか、②国外の社会について学ぶことで、自分の社会の当り前を問い直す方法もあります。

本ゼミでは、①として社会学について学ぶ、②として社会学のほか国際社会学についても学ぶ、という二本立てで進めていきます。①か②かは、どちらでもかまいません。

【ゼミのスケジュール】

3回生春学期＝社会学について学ぶ。

3回生夏休み＝シンガポールで現地実習（希望者）。

3回生秋学期＝社会学か国際社会学について学んだ上で、具体的なテーマを各自で掘り下げ、その内容をプレゼンテーションできるようにする。

4回生＝卒論完成に向けて研究を進める。

【課外活動】

コロナ以前には、3回生の夏休みに希望者がシンガポールで現地調査実習を行ってきましたが、来年度以降どうかはコロナ次第です。あと各セメスターに1回程度、外で集まる機会を設けてきました。このほかにも希望する課外活動があれば柔軟に対応します。

【卒論テーマ】

自分にしか書けないオリジナルなものを書いてください。これまでの卒論タイトルの一例を挙げます。

シンガポールにおけるHDB団地の屋上緑化について／
韓国の三放世代と女性の活躍／彦根の観光について／
外国人の子供の教育：ブラジル人の子供たち／カンボジアにおける農村の展望／SNS利用時におけるキャラの変化について／マレーシアの国民車「プロトン」の変遷とこれから／近所付き合いとこれからの町内会の在り方／拍手の成立条件を探る／日本における外国人の教育／携帯ストラップの歴史と将来

【ゼミ生より】

- ・落ち着いた雰囲気が魅力のゼミです。(N.A)
- ・ほどよくがちで、ほどよくゆるい。(H.T)
- ・希望者はシンガポールで現地調査できます。(U.H)
- ・自由にテーマを決められて楽しく学べます。(H.S)
- ・自分の好きなテーマで早くから好きなだけ卒論研究できます。(K.H)
- ・自分のペースで自分のテーマに集中できるので課外活動や就職活動と両立できます。(I.A)
- ・就職活動の際に親切に相談に乗ってくれます。(N.S)

【人数】

専門演習Ⅲ・Ⅳ：10人（隔年の募集です）

【就職状況】

ゼネコン、鉄道、道路、金融、専門商社、各種メーカー、衣料、自動車販売、医療、各種公務員・・・

【入るための目安(条件)】

次のような人を歓迎します。受入れは、一次志望者を優先します。

- ・社会学や国際社会学について学ぶ意欲のある人。
- ・当たり前だとされていることを改めて問い直し、日々営んでいる社会生活について改めて学んでいこうとする意欲のある人。
- ・単に言われたことを行うだけでなく、自分でアンテナを張って、興味や関心をもったことに対して自分で積極的に取り組んでいくことができる人。

西村 正秀ゼミ NISHIMURA SEISHU

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

研究分野は哲学です。具体的には、知覚の哲学、認識論、近世哲学史(J. ロックなど)を中心に研究をしています。現在は、(1)信念の本性の検討、(2)ベイズ主義知覚論の研究、(3)因果関係の知覚可能性についての研究などに取り組んでいます。

【先生より】

哲学とは、世界や人間の在り方について私たちが考えている事柄をできる限り明確にする作業です。哲学は応用範囲が広く、例えば他の学問分野の原理を掘り下げたり、社会や文化における様々な事柄を検討したりすることにも使えます。本ゼミは、デカルトやカントといった哲学者の思想を学びたい人や、認識論や倫理学など哲学固有の問題に関心がある人はもちろん、哲学的な思考法や分析法を身につけたいという人も歓迎します。

【連絡先】

snishimu@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

○三回生

哲学研究にとって基礎となるのは、文献を正確かつ批判的に読む能力です。春学期は哲学文献の読解スキル獲得など、哲学の基礎トレーニングを行います(これまで使用した文献には、動物倫理の入門書、現代哲学の入門書、フェミニスト現象学の入門書、デカルト『省察』があります)。秋学期はゼミ生の意見も聞きながら文献を決め、それを演習形式で読解しながら、哲学論文を書く訓練を行います。また、各自でテーマを決めて、それについて発表してもらう予定です。

○四回生

四回生は、春学期・秋学期ともに、卒論の制作に向けて、各人の発表を中心にゼミを行います。春学期の初めに研究計画を立てて研究を進め、途中経過を随時発表してもらいます。

【活動時間】

ゼミ I~IV については、各週一コマです。ゼミ以外の学習活動としては、ゼミ生の希望に応じて読書会を開くことがあります(参加は任意)。過去には、言語哲学、フェミニズムなどの読書会を開きました。

【課外活動】

課外活動については、ゼミ生のみなさんと相談しながら決めています。ただし、課外活動はコロナなど社会状況によって制約を受ける点にご留意ください。

【卒論テーマ】

- ・ハンナ・アーレントにおける「思考」概念の倫理学的可能性
- ・「エモイ」とは何か:構成主義的情動理論の観点から
- ・エヴァンスの指示理論について:固有名詞用実戦における記述の役割と適合度
- ・ジョルジュ・バタイユのエロティシズム論の構成基盤におけるプラトンのエロス論の内包:恋愛における「エロティシズム」と「プラトニズム」の関係性の分析による考察
- ・その他、動物倫理、自殺、人生の意味、教育哲学など、多様なテーマが選ばれています。

【ゼミ生より】

西村ゼミでは、哲学が扱う幅広い分野の中から関心に応じて、あなたのペースで学ぶことができます。分からない所は西村先生が丁寧にフォローして下さるので、初めての方も問題ありません。

ちょっと難しそうだけれど気になること、考えてみたいこと、ありませんか…?

お話だけでも結構です! 興味のある方は、是非西村ゼミをのぞいてみて下さい。

【人数】(現在休学中の人を除く)

I ゼミ・II ゼミ:合計 2 人

III ゼミ・IV ゼミ:合計 6 人

【就職(進路)状況】

・大学院進学、他大学に学士入学、日立製作所、金融関係、専門学校進学、自営業など様々です。

【入るための目安(条件)】

コア科目の論理学は履修しておいてもらえるとありがたいです(必須というわけではありませんが)。あと、ゼミで適宜外国語文献(特に英語文献)を使用する予定なので、その点は留意して下さい。不安な人や質問がある人は、事前相談に来て下さい。

野瀬 昌彦ゼミ NOSE MASAHIKO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

世界のさまざまな言語の文法を対照し、言語の文法の中に存在する意味やその効果を明らかにする研究で、対照言語学や言語類型論と呼ばれる研究です。いわゆる言語学という学問分野の研究者ですが、同時に、文化論、人類学、コミュニケーション論や進化学などの異分野融合的方向を模索しています。

【先生より】

なるべく学生自身が興味のあることを、言語や文化の点から論じ、卒業研究に向けて勉強してもらおうと考えています。加えて、ハンドアウト作成や文章執筆の訓練をします。私自身もまだまだ研究が至っていない点も多いので、ゼミの皆さんと一緒に勉強していく感じです。

【連絡先】

ma-nose@biwako.shiga-u.ac.jp, 511 研究室

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

対照言語学の点から、日本語と英語その他の外国語を比べるような研究をしてほしいと思います。純粋に言語学の分析でも良いのですが、文化に関すること、マンガやアニメの研究をしても構いません。英語が苦手な学生は、自身の出身地の方言やネットで使用される言葉の研究をしてもらいます。場合により、大学のカフェなどでもゼミを開催したいと思います。

基本的には、文献を読んで議論していくことを中心としていますが、場合により外に出てフィールドワークをしたり、他の場所へ行ったりすることもあるかもしれません。自身が勉強し、集めて分析した結果をきちんと発表できるレベルにして欲しいと思います。

【活動時間】

専門演習 I, II は金曜3時限、専門演習 III, IV は金曜4時限を予定しています。Microsoft Teams やLINEでのオンラインでの学習や議論も実施します。

春学期: (コロナの状況により変更があります)

新歓食事会&自己紹介プレゼンテーション
文献輪読

セメスター終わりのお疲れ会

秋学期:

秋のお食事会

文献輪読や論文レビュー

卒業研究準備

セメスター終わりのお疲れ会

【課外活動】

セメスターはじめと終わりをめどに、食事会を実施したいと考えています。学生負担は基本的に 1000 円としています。

【卒論テーマ】

- ・野球実況のホームラン時における日米の分析
- ・漫才における演者と観客のコミュニケーションはどのように成り立っているのか
- ・中国語でのプロ野球実況に関して、ホームとビジターでの言葉の使い分け
- ・刀剣乱舞-ONLINE-における日本文化や歴史を前提としたセリフや単語が日本語から英語に翻訳された場合の分析
- ・メルカリのコメント欄における、入札者から出品者への値下げ依頼に関するコミュニケーションの分析
- ・フランス語、中国語、フィンランド語、日本語、英語の5カ国語の時制を比較して、各国の文化やモノの見方について言語という新しい観点から理解を深めようとする研究
- ・日本の絵本からみたジェンダー意識の変化

【ゼミ生より】

- ・部活やサークル活動と両立できます。
- ・興味があることに、自由に取り組みます。
- ・のんびりとしたゼミです。

【人数】

専門演習 I・II : 0 人(募集なし)

専門演習 III・IV : 7 人

【就職(進路)状況】

民間企業、公務員、大学院進学などさまざまです。

【入るための目安(条件)】

- ・言語に興味があること(必ずしも英語に自信がある必要はないですが、英語論文を読むことがあります)
 - ・言語をベースとした文化に興味があること(日本語、日本文化でも可)
 - ・外国語学習や外国への旅行に興味があること
- 以上の点を志望書に必ず何か書いてください。

能登 真規子ゼミ NOTO MAKIKO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

民法。人に責任を課す法的根拠に関心を持っています。債務の保証、身元保証から展開して、現在はフランス法を比較対象として、扶養義務を見ています。

【先生より】

法主体としての人や法人、客体としての財産や権利、契約、民事責任、婚姻、親子、相続…。民法は、人が社会で生きていくうえでの基盤的制度です。何か興味の持てる問題があると思いますので、ゼミ生の皆さんには、各自の問題意識を大事にして、考察を深めていただきたいです。

(1)個々の法律、制度・条文の知識を身につけたうえで、(2)それらが個別具体的な事件において、どのように使われているかを理解していきます。さらに、(3)現代社会のさまざまな問題の解決に向けて文献調査を行い、複数の視角からの分析をふまえて、自らの意見を持てるようになることが理想です。

【連絡先】

noto@biwako.shiga-u.ac.jp (616 研究室)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習Ⅰでは、民法の教科書等を用いて、基礎的な法理論・法知識の確認・習得を図ります。

専門演習Ⅱでは、各自の研究課題に取りかかります。それぞれの問題関心に沿って大きくテーマを設定し、それに関連する判例研究を行います。報告者は、各自選んできた判例・裁判例につき、事実の概要や判決の要旨をまとめ、過去の類似事件の判例・裁判例や学説の議論を調べて考察し、報告します。

専門演習Ⅲが始まる頃、卒業論文のテーマを再度検討します。就職活動等の目途がついたら論文執筆に取りかかります(Ⅲは専門演習Ⅰと合同開催です)。

専門演習Ⅳでは、卒業論文を仕上げていき、1月には専門演習Ⅱと合同で発表会を行います。

【活動時間】

水曜日3・4限(合同ゼミをする時期があります)

【課外活動】

年度ごとの自主企画(ゼミ生におまかせ)

【卒論テーマ】

「所有者不明土地問題の課題と解決策」
「患者の自己決定権とインフォームド・コンセント」
「自動運転における事故の責任と法的課題」
「電子商取引における消費者保護」 等々

【ゼミ生より】

このゼミでは、法律のなかでも特に民法について学ぶことができます。実際にあった事例について学ぶため、自分が同じような場面に遭遇した場合でも、問題を解決する力が身につくと思います！また、判例に関する内容についてゼミ生みんなで議論することにより、自分とは違った視点に気づくことができ、さらに、先生が興味深い事例を挙げながらお話しくださるため、より一層理解を深めることができます。

民法に興味を持っている方や、法律問題を解決する力を身につけたい方は、ぜひ、覗いてみてください！

▶アピールポイント

- ・落ち着いた雰囲気がある！
- ・役立つ知識を得ることができる！
- ・考える力が身につく！
- ・自分の時間を持ちやすい！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：6人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：10人

【就職(進路)状況】

国家一般(金融庁、総務省、国土交通省、東京税関、出入国在留管理庁)、国税専門官(名古屋・広島)、府県(京都・愛知・滋賀)、市(豊橋・大垣・豊田・大津)、国立大学、公益社団、自衛隊(海上・陸上)、金融、保険、不動産、建設・建築、製造(食品、金属、機械)、電気、情報通信、小売、社会福祉、行政書士、法律事務所、社会保険労務士等。

【入るための目安(条件)】

ある程度、法律科目の学習・学修が進んだ方々をゼミ生として想定しています。

選考ごとに専門演習の申請書の提出より先に、以下の(1)～(6)の内容を記載したメールを能登まで送信してください。面談の日時等をお知らせします。

- (1) 氏名
- (2) 学籍番号
- (3) 法律科目の履修状況
- (4) 志望理由
- (5) 卒業後の進路志望
- (6) 自己アピール

福浦 厚子ゼミ FUKUURAATSUKO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

文化人類学

ジェンダー/宗教/東南アジア/東アジア

宗教と社会との関係を文化人類学の枠組みから研究しています。

【先生より】

ジェンダーや格差、貧困、暴力など、日常の諸問題について文化人類学の視点から考えるとどうなるのかといったことをゼミのみんなで意見交換してもらっています。

とくにテーマとして取り上げてもらうべきことを決めているわけではありません。わりと自由です。

【連絡先】

atsuko@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

春学期:文化人類学概論や基礎的な理論について学びます。

秋学期:文献研究として具体的な民族誌を読みます。

そのほかに、課外活動として国立民族学博物館などといった文化人類学に関連する資料を展示している博物館や資料館を訪れることがあります。参加者の皆さんの意見を聞いたうえで決定します。

【活動時間】

開講時間:水曜日 1コマ

【課外活動】

とくになし

【卒論テーマ】

・ビザンツにみる世界帝国のイデオロギーと生存戦略
宗教の世俗化論とその変遷:世俗化論の変遷とマーケット論の観点から聖地ツーリズムや宗教的商品などの現代宗教の変容について考える。

・健康的な食事についての一考察

・自由に生きていくことができるか

・自動車の所有で広がる人類のフロンティア:現在そして今後の自動車の持つ意義

・「世俗」における宗教性

・犬と人のこれまでとこれから:日本を中心に犬と人との関係を考察する

【ゼミ生より】

複雑になってきている現代だからこそ、文化人類学で学ぶ知識は絶対に必要になってくると思います。ゼミでは、現代の諸問題に対して文化人類学からアプローチをしています。授業では、担当の章をまとめて発表するという形式がとられています。

福浦先生は、文化人類学に関する様々な知識をお持ちで、非常に親切で親身になって相談に乗ってくださる方です。

少しでも文化人類学に興味を持った方は、ぜひとも福浦先生の下で学んでみませんか？

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:8人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:0人

昨年まで隔年開講ゼミであったためⅢ、Ⅳゼミ生はいません。

【就職(進路)状況】

進学、保険業界、メーカー、ディーラー、物流事業、製薬会社、公務員、コンサルタント企業など

【入るための目安(条件)】

異文化理解に関心があること。

松下 京平ゼミ MATSUSHITA KYOUHEI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

- ・自然の時間特性を考慮したレクリエーション分析
- ・森里海の連環の経済分析
- ・自然と人々の相互作用に関する実証実験
- ・調査対象地区:滋賀、瀬戸内、佐渡、南三陸、大阪など

【先生より】

当ゼミでは、経済学という分析手法をベースに、“私たちは環境にどのような影響を及ぼすのか”、“効率的に環境を保全していくために必要な条件とは何か”、そして“わたしたちが持続可能な経済社会を営むために何をすべきか”など、人間と環境の関わり方について検討します。これら諸問題に対して、ゼミ生の皆さんにテキストの輪読、およびディスカッションを通して、最終的には自問自答できる力を身につけて欲しいと思います。

【連絡先】

k-matsushita@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習Ⅰ:環境問題について興味を持ったテーマをグループごとに分かれて調べ、プレゼンをします。年度によって内容は異なります。

専門演習Ⅱ: 専門演習Ⅰで学んだ知識を実証分析に適用することを目指し、統計データの可視化および計量分析に関する講義を行います。

専門演習Ⅲ: 就活に軸足を置きつつ、ゼミ活動を行います。就活終了後から本格的に卒論作成に取り組んでもらいます。

専門演習Ⅳ:卒論完成に向けて先行研究レビュー、論文構成の精緻化、データ収集・分析等を集中的に行います。卒論内容について学生同士で議論しながら進めてもらいます。

【活動時間】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:水曜 3 限

専門演習Ⅲ・Ⅳ:水曜 4 限

【課外活動】

2022 年度より徐々に課外活動を再開しています。

*実施状況は社会情勢に応じて変わります。

【卒論テーマ】

・フェア・トレード、3R 活動、地域活性化、観光公害、自然管理に地域文化が果たす役割、自然リスクの価値評価分析など色々です。

【ゼミ生より】

このゼミでは環境問題について経済学の視点から分析し、話し合っています。話し合いは少人数のグループで行い、またゼミのメンバーも穏やかで意見を言いやすい雰囲気となっています。ごみ問題などの身近な問題から SDGs のような国際的な問題まで幅広く扱っています。先生は優しく気さくな方です。比較的自由度の高いゼミなので部活やサークルとの両立も可能です。

【人数】

I ゼミ:男 9 女 4

II ゼミ:男 9 女 2

【就職(進路)状況】

金融系、製造系、メーカー、公務員など特に傾向はありません。

【入るための目安(条件)】

特にありません。

宗野 隆俊ゼミ

MUNENO TAKATOSHI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

「人々が公共的なことがらに関わる意思決定に加わり、議論を通じてねばり強くコンセンサスをつくり、その責任を担っていく」プロセスを研究しています。

研究テーマのキーワードは、やや抽象的ですが、「参加」「公共性」「シビック・エンゲージメント」「公正な社会」等々です。

【先生より】

世のなかには、時間をかけて考える価値のあることが、意外とたくさんあります。若い人たちがそのことに気づききっかけを用意し、ものごとを考えぬく力を養う手伝いをしたいと思います。

「深く楽しく学び、人生を豊かにする」ための土台を、このゼミで築いてほしいです。

【連絡先】

muneno@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミでの研究テーマ、研究の進め方、使用するテキストや資料は、全員で協議して決定します。3 回生の最初期は、テーマ設定、研究グループ分け、テキスト選定などに費やし、GW 前後から本格的に研究を開始します。

また、発表のローテーションを機械的に組むことはせず、1 つのテーマにじっくりと取り組みます。同じテーマについて、異なる先行研究や資料を用いて、数回をかけて議論することもあります。

ゼミの運営は、メンバーの報告とディスカッションで成り立ちます。教員は先行研究の選定に関するアドバイスやディスカッションのサポートをしますが、主役はゼミのメンバーです。

テーマは、メンバーの関心をふまえて、適宜更新します。過去数年間のテーマには、「代表制デモクラシーへの不信とその克服」「現代における経済の非物質化」「メディアは信頼できるか」等々があります。

【活動時間】

金曜日 3 限(3 回生ゼミ)と 4 限(4 回生ゼミ)に開講する予定です。



【課外活動】

新型コロナの影響で、過去 2 年間は行っていません。

【卒論テーマ】

- ・「AI は雇用を奪うか 人間の知能と人工知能の違いを考える」
 - ・「過剰在庫から見る国内アパレル産業の未来と課題」
 - ・「現代ゲームの変化と対面の価値」
 - ・「自己責任、能力主義と教育 教育における結果は自己責任か」
 - ・「個人化現象から現代日本社会を考える」
- (※過去 2 年の卒業論文から抜粋)

【ゼミ生より】

民主主義…
金融緩和…
政治不信…

毎日のニュースや大学の授業で耳にする言葉たち。

単位を取るために、用語を覚えて何となくレポートを書いているけれど、これらの背景には何があり、そもそも何が問題なのか、実は分かっていないのかもしれない。

宗野ゼミは「答えを出すことを急がない」「迷いながら進む」そんなゼミです！会計や法律など専門的なスキル一辺倒ではなく、社会で生きていく上での根源的な問い・リベラルアーツに関する知識を涵養できる場をゼミの仲間と作っています。様々な“いい”本に出会い、仲間との討議を通して、自分の知見を広げてみませんか？

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ： 6 人

専門演習Ⅲ・Ⅳ： 5 人

【就職（進路）状況】

メーカー、製薬、IT、コンサルティング、教育、情報サービス、流通、交通、金融、証券、生保、公務員（市、特別区、府県、国）、大学院進学など。多様です。

【入るための目安（条件）】

過去の成績は問いません。かなり多くの書籍や資料を読み、時間と手間をかけて仲間と議論を重ねます。思考をめぐらせ、未知のことに触れ、仲間と議論することに喜びを感じることできる人に来てほしいと思います。

編集後記

本冊子を新三回生の皆様に提供できます事を大変光栄に思っております。私共は新三回生の皆様に、後悔する事のない最良のゼミ選択をして頂くために、少しでもお役にたてればとの思いから、学内ゼミナール大会の開催に併せ、本冊子を作成いたしました。冊子をご活用いただくと共に、是非学内ゼミナール大会にご参加いただき、最良のゼミ選択、ひいては最高のゼミ生活のスタートを実現していただきたいと思っております。

ゼミというのは、先生と近い距離で研究のお話を聞けるだけでなく、現役の先輩や、OB・OGの方々から色々なアドバイスを頂くこともでき、そういった環境から受ける影響はとても大きなものとなります。さらに、グループワークにより普段ではなかなか経験できない事を学ぶこともでき、その活動を通してゼミ生と一生の絆が芽生えることも多くあります。ゼミは皆様の参加の仕方次第でより多くの知識や刺激を与えてくれ、自分自身の成長を促してくれるものになり得るでしょう。そのような重要な場であるからこそ、より早く本冊子をお配りし、時間をかけて自分にあったゼミを選択していただきたいと思っております。本冊子が一助となれば、幸いです。

最後になりましたが、本冊子を編集するにあたって、多くの方々にご協力していただきました。紹介文の依頼を引き受けてくださり、作成していただいた先生方と各ゼミの常任委員の皆様、本当にありがとうございました。改めて心よりお礼申し上げます。製本におきましては、サンライズ出版様、そして、学務課教務係、学生支援課を中心とする職員の皆様、この企画に携わった方々、私共を支え、貴重なアドバイスをしてくださったすべての方々に、深く感謝いたします。恐縮ではございますが、この場をお借りして感謝の意を表します。

今後ともゼミナール協議会員一同、学生の勉学生活の発展と向上のために、全力を挙げて活動し努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

ゼミナール協議会 平下怜良

編者

平下 怜良
米田 知優
安田 大地
福島 僚真
梶山 理央
長屋 龍斗
羽田 梨那
福田 早智
藤田 萌香
山川 瑛士
山崎 莉奈
横山 翔斗
浅野 貴々
葛迫 ゆい
山本 大葵

原稿収集

ゼミナール協議会

2023年度ゼミ紹介冊子

発行日/ 令和4年10月1日

発行者/ 滋賀大学ゼミナール協議会 中央執行委員会

印刷・製本/ 特急印刷プリントライダー



SHIGA UNIVERSITY